



SK Brochure Film



SK PROFILE 2026

JAPANESE

SK FROM POSSIBILITY TO REALITY



SK FUTURE

6 Designing AI Infra
20 Creating AI Value

SK TODAY

34 SK Group Highlights
36 Global Networks
38 SK Group History
40 SKMS
42 Social Value
43 ESG

SK COMPANIES

SK
FROM POSSIBILITY
TO REALITY

AIの大転換期を迎え、全世界の社会・産業全般にわたり、
かつてない速度で変革が進んでいます。

SKはAIの無限の可能性を信じ、
AI時代の課題に正面から向き合い
革新的なソリューションをいち早く準備してきました。

そして今、SKは産業インフラから個人のサービスまでを網羅する、
フルスタックのAIソリューションを擁し、
AI時代の新たな進化を牽引する
AIリーディングカンパニーとして、躍進しています。

誰よりも早く可能性を形にするという強い意志のもと、
SKは社会・産業のAI変革をリードし、
すべての人が幸せに生きられる持続可能な未来の実現に向けて、
力強く歩んでまいります。

CHAIRMAN’S VISION

AI時代の到来とともに、
SKは果敢な革新と挑戦を重ね、
すべてのステークホルダーとともに
持続可能な未来を
切り拓いてまいります。

SKはこれまで70年以上にわたり、繊維からエネルギー、化学、情報通信、半導体、バイオなどへと事業領域を拡大し続け、産業の発展を牽引してきました。優れた技術・製品・サービスの提供に加え、戦略的な投資と継続的な運営改善を通じて、各分野の本質的な競争力の強化に取り組んでまいりました。その結果、いかなる経営環境の変化にも揺るぎない成果を積み重ね、世界から信頼されるグローバル企業へと成長を遂げることができました。

本格的なAIの大転換期を迎え、SKはこれまで培ってきた競争力を活かし、産業インフラから個人向けのサービスまで、フルスタックのAIソリューションを提供し、AIエコシステム全般にわたって優れた能力を発揮しています。特に、AI半導体やAIデータセンター、エネルギーバリューチェーン、AIエージェントサービスにおいて頭角を現し、世界中から注目を集めています。

今後も、SKは最も効率的なAIソリューションを提供することで、メモリ半導体の供給不足をはじめとする世界的なAIのボトルネック解消に向け、中心的な役割を担ってまいります。また、グローバルAIエコシステムの主要パートナーとして成長するため、グローバルビッグテックや韓国内外のスタートアップ企業との協力をさらに強化してまいります。こうした積極的な挑戦を通じて、AI時代をリードするグローバルAI企業へと発展してまいります。

さらに、SKは企業の利益追求にとどまらず、社会問題の解決に貢献する社会的価値の創出にも力を入れています。社会問題の解決には、社会的価値の測定と管理の定着が不可欠であるという信念のもと、毎年創出した社会的価値を測定し、その結果を経営の意思決定に積極的に反映しています。また、取締役会中心の経営により、透明性と責任あるガバナンス体制を構築し、SKが創出する経済的・社会的価値が持続的に広がっていくよう努めています。

SKが描く持続可能な未来は、すべての人が共に幸せになれる世界です。AI技術や能力、資源を活かし、すべてのステークホルダーに、より大きな幸せを届けてまいります。そして、AI産業全体をリードし、グローバルなAIエコシステムの発展に貢献してまいります。SKが生み出す新たな変化が、すべての人の持続可能な未来へとつながるよう、今後も果敢な革新と挑戦を続けてまいります。



SK会長

チェ・テウォン(崔泰源)

SK FUTURE

**SK believes in a sustainable
future shaped by AI.
With full-stack AI solutions built on
our extensive technological capabilities,
we are fostering everyday progress,
supporting industrial advancement,
and opening a new era of AI that
will transform the future for all.**

>

SKは、AIが創り出す持続可能な未来を信じています。
SKの技術と能力を結集したフルスタックAIソリューションによって、
日常の幸せを育み、産業の発展を支援しつつ、
すべての人の未来を変える新たなAI時代を切り開いていきます。

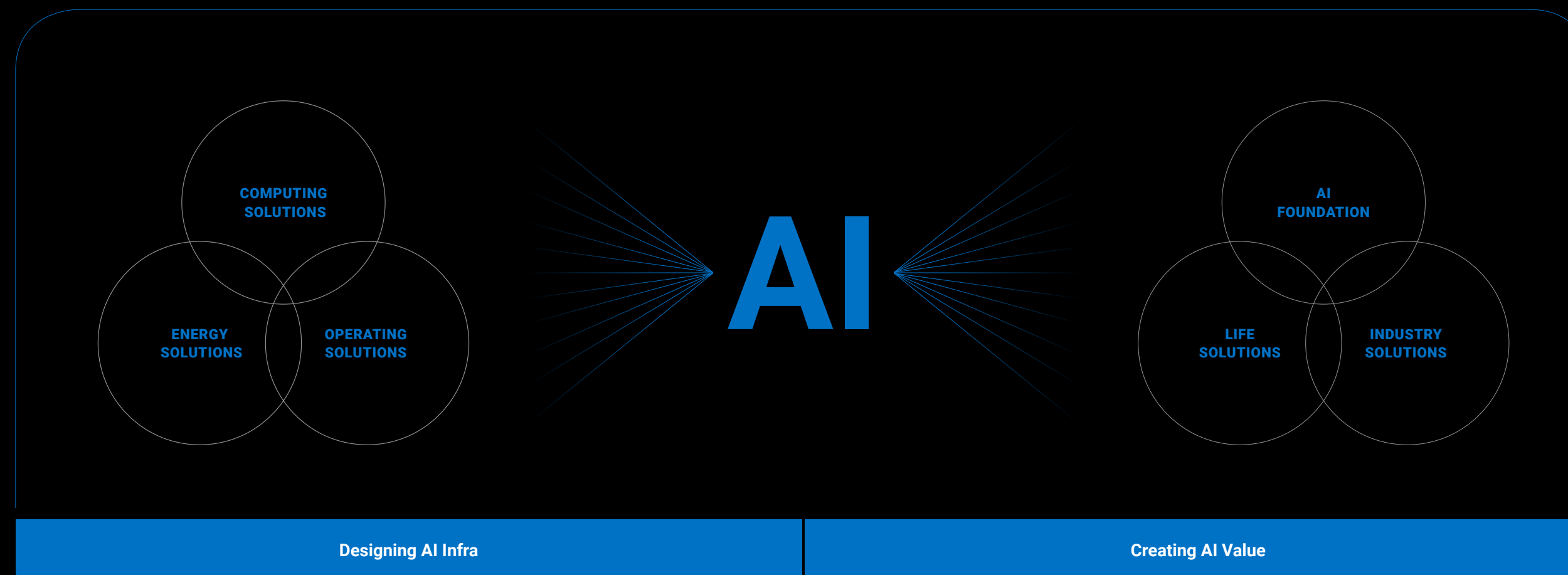
SK FUTURE

SK believes in a sustainable future shaped by AI.
With full-stack AI solutions built on our extensive technological capabilities, we are fostering everyday progress, supporting industrial advancement, and opening a new era of AI that will transform the future for all.

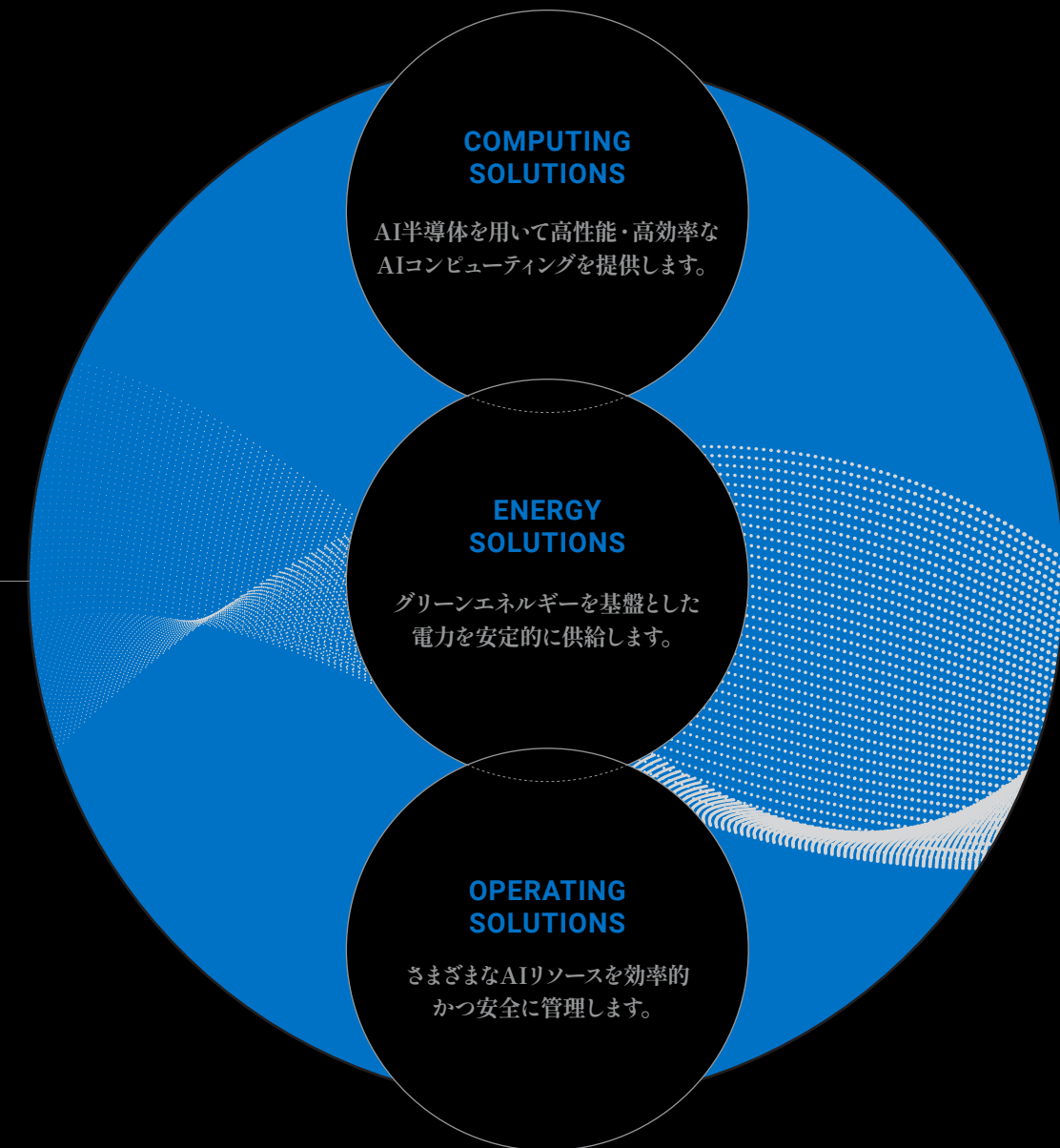
SKは、AIが創り出す持続可能な未来を信じています。
SKの技術と能力を結集したフルスタックAIソリューションによって、
日常の幸せを育み、産業の発展を支援しつつ、
すべての人の未来を変える新たなAI時代を切り開いていきます。



PROVIDING FULL-STACK AI SOLUTION

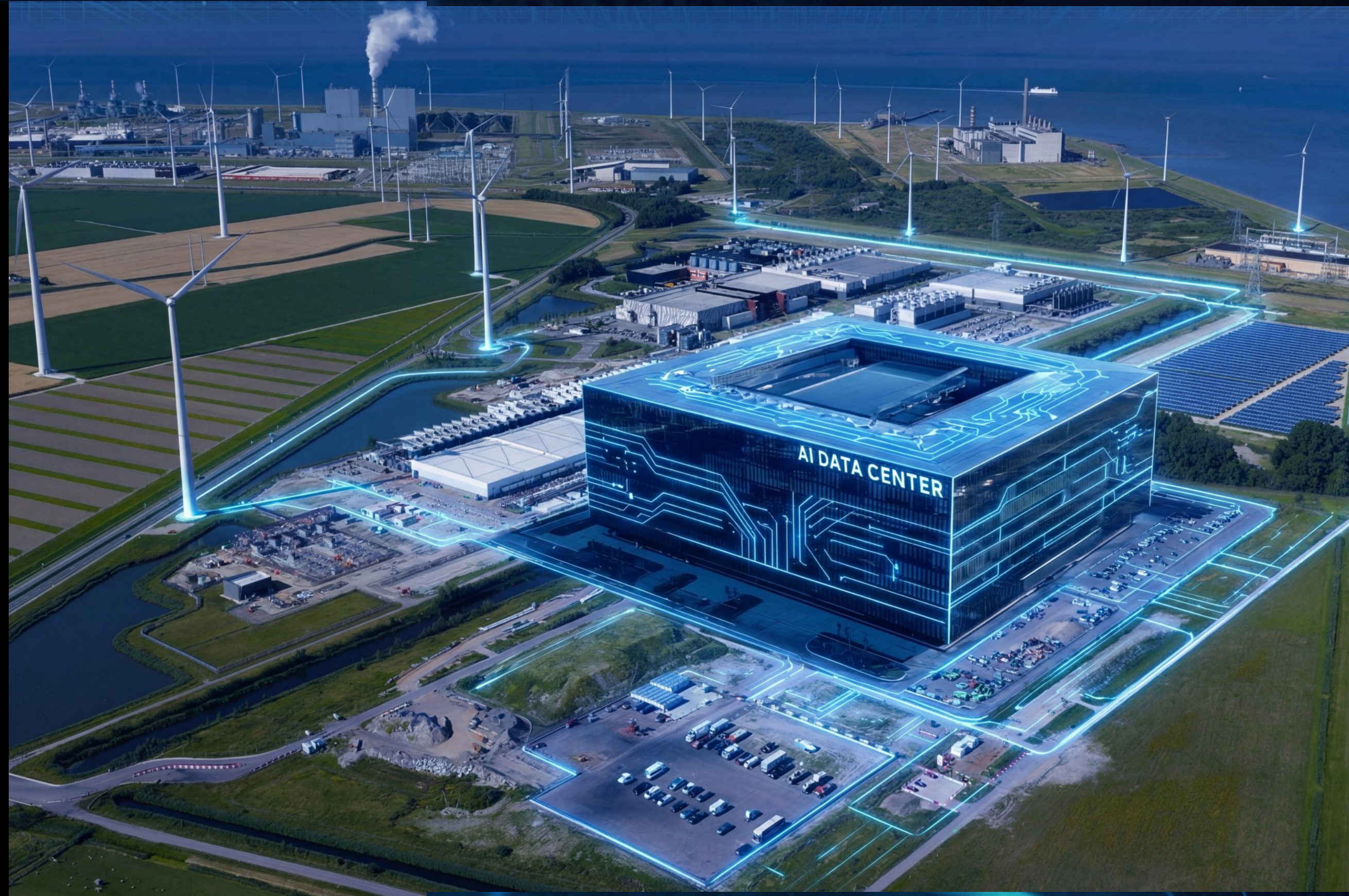


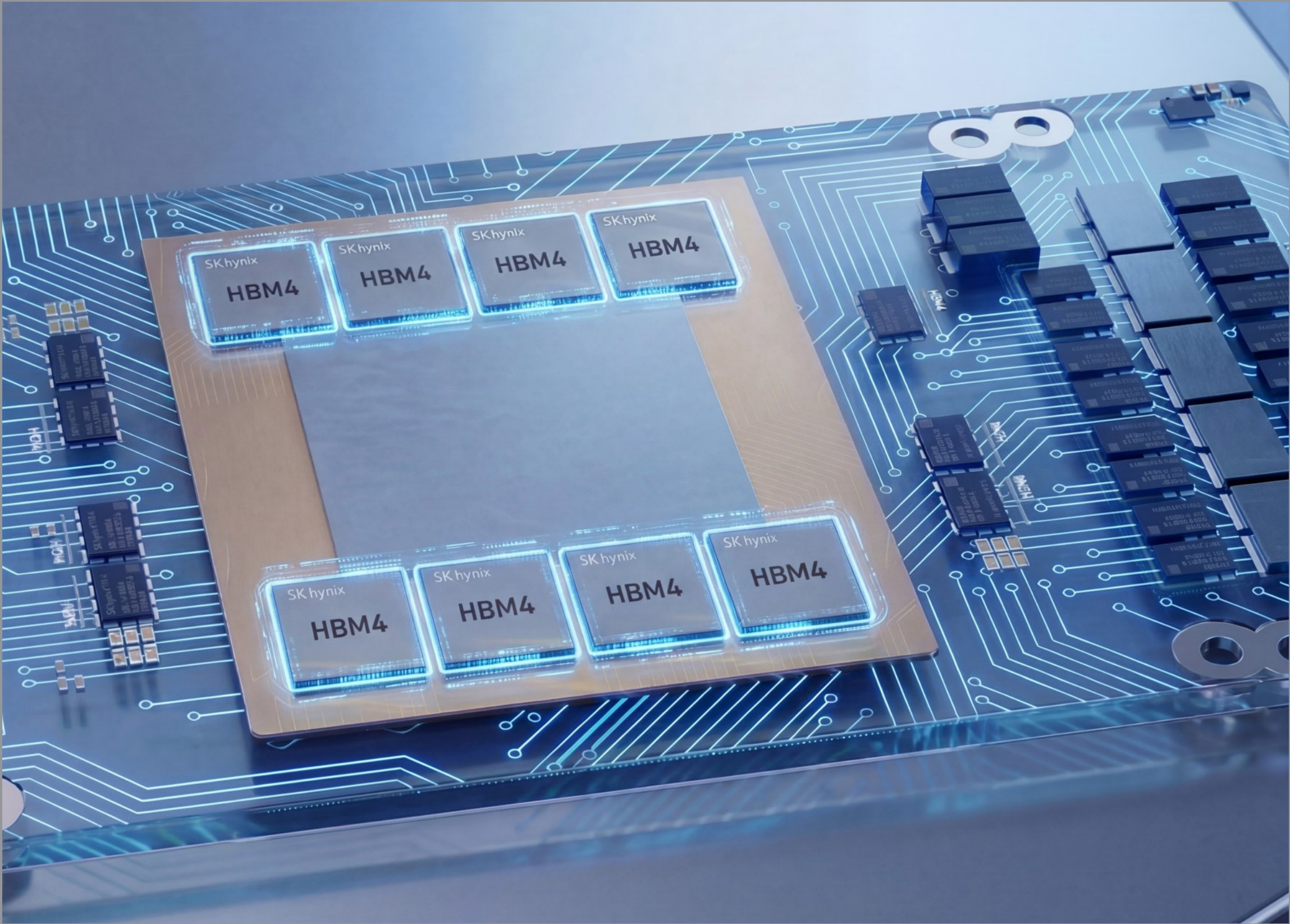
DESIGNING AI INFRA



AIデータセンターに求められる
革新的なフルスタックソリューションを提供します。

SKは先端的なAI技術と差別化されたサービス能力を結集し、AIデータセンターに必要なフルスタックソリューションを提供します。高性能・高効率なAIコンピューティングを支える世界最高水準のAI半導体供給をはじめとして、グリーンエネルギーを含むエネルギー全般のバリューチェーンやエネルギー特化型ソリューションも備えています。また、大規模GPUクラスターによるAIクラウドサービスに加え、最先端のAIデータセンターの建設(設計・調達・施工)や運営においても、差別化された能力を発揮しています。

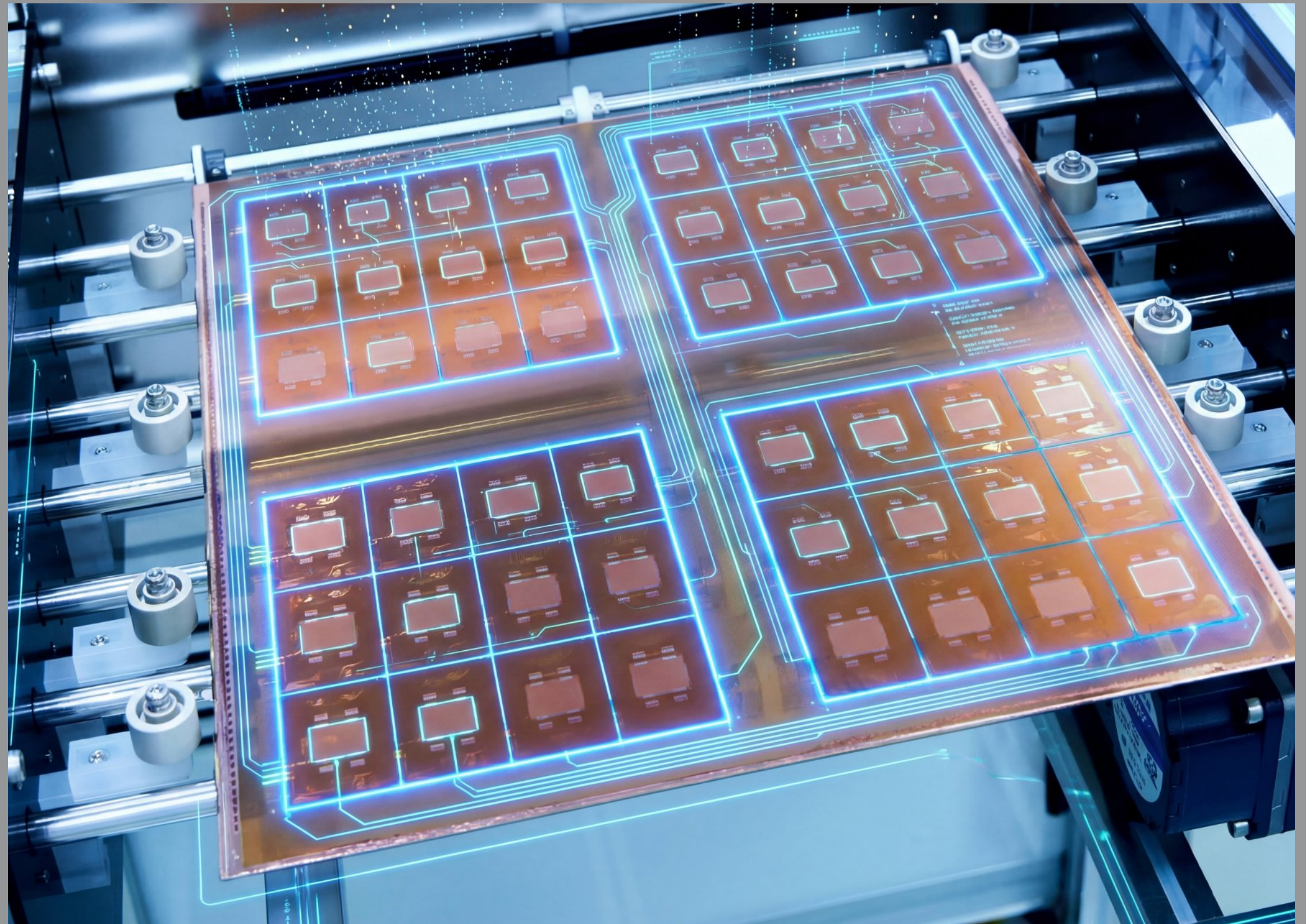




AIメモリチップHBM4 (SKハイニックス)

COMPUTING SOLUTIONS

SKは、AIデータセンターにおいて高性能・高効率のAIコンピューティングを提供するため、次世代のAIメモリソリューションをいち早く開発してきました。世界初の第5世代HBM(HBM3E)製品のリリースを皮切りに、「HBM3E 12段36GB」製品でHBM市場をリードしています。さらに、現存する最高スペックのAIメモリ「HBM4」の技術開発に成功し、世界初となる先行量産体制を構築することで、次世代HBM分野においても業界の技術をリードしています。加えて、AIサーバー特化型の低電力メモリモジュール「SOCAMM2」も展開し、急増するAIサーバー需要にも積極的に対応しています。



SKは、世界初となる半導体パッケージ用ガラス基板の量産工場をジョージア州に完成させ、商業化に拍車をかけています。SKのガラス基板は、従来のプラスチック基板に比べてAIデータセンターの面積と電力消費量を飛躍的に削減できるため、先端半導体パッケージング産業のゲームチェンジャーとなることが期待されています。

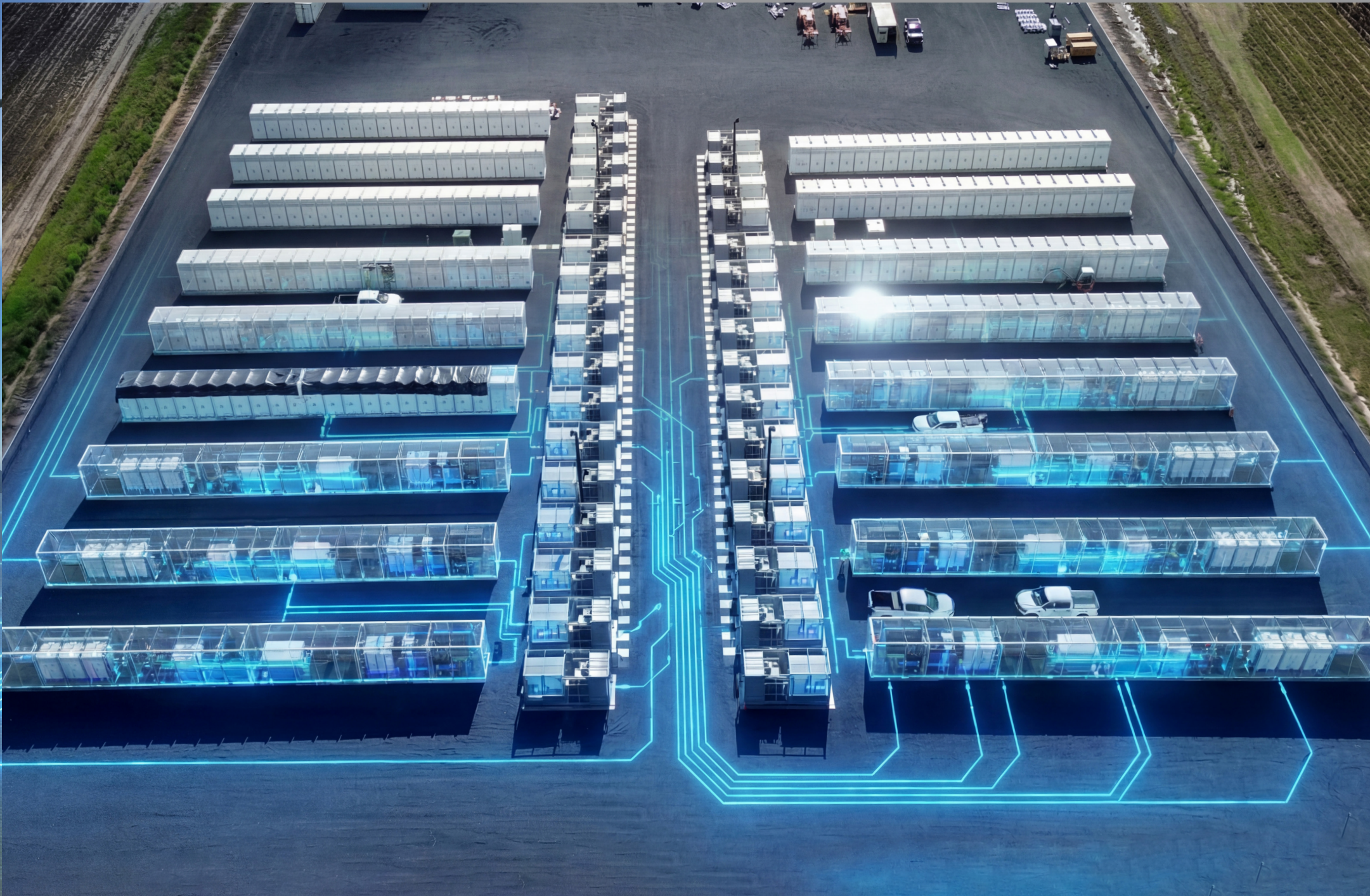
ガラス基板 (SKC)



ENERGY SOLUTIONS

SKは、増加するAIデータセンターのエネルギー需要に対応するため、次世代電源として注目されるSMR(小型モジュール炉)、分散型電源供給のための燃料電池、CCS(炭素回収・貯留)により確保した低炭素LNG、水素、洋上・陸上風力、太陽光、ESS(エネルギー貯蔵システム)など、グリーンエネルギー全般を網羅するフルバリューチェーンを構築しました。SKのグリーンエネルギー・フルバリューチェーンは、AIデータセンターをはじめ、大規模なグリーンエネルギーを要する未来産業に、最も安定的かつ経済的な動力を提供しています。

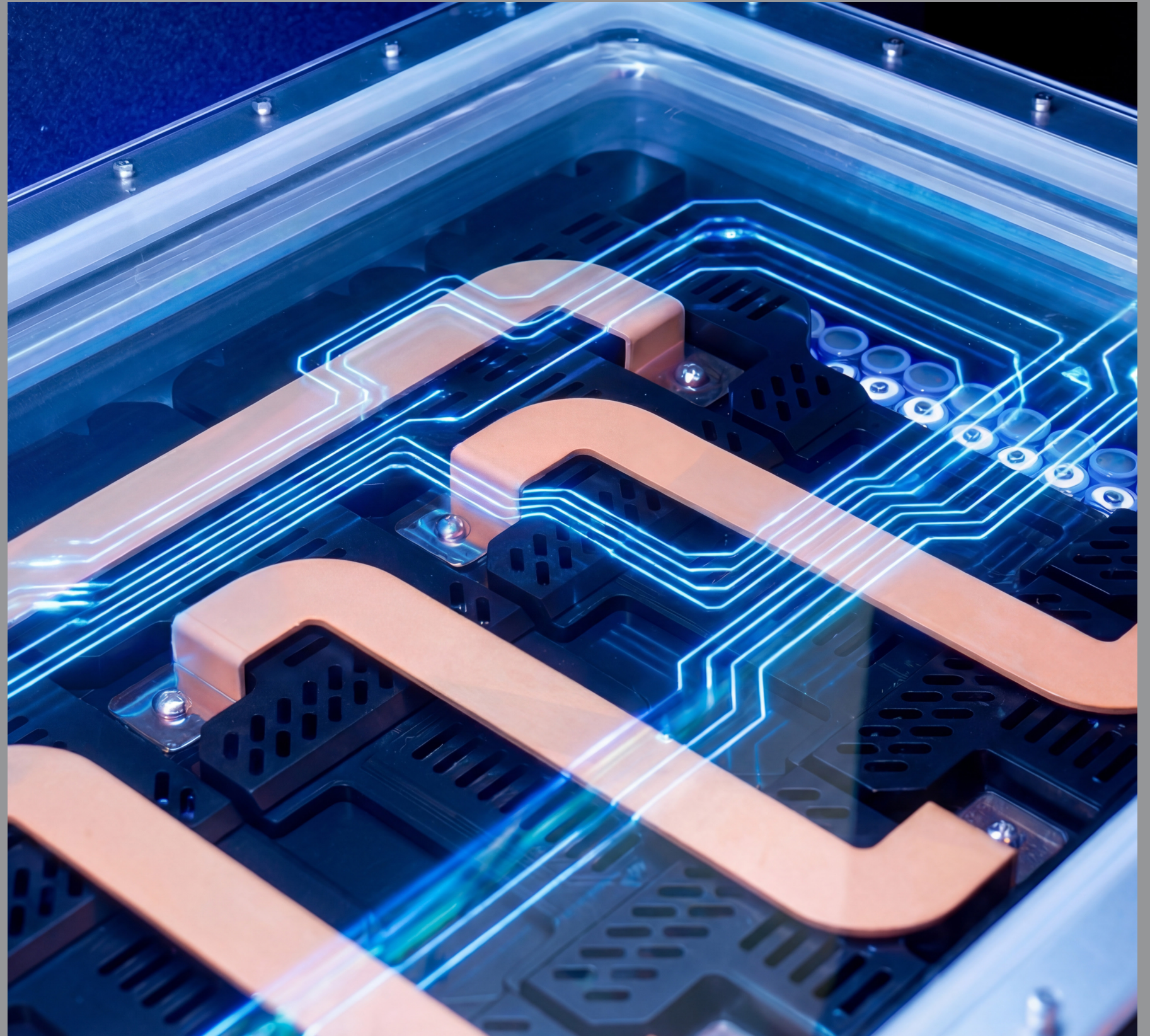
米国テキサスESS (SKガス)





燃料電池排熱回収冷却システム (SKエコプラント)

SKは、AIデータセンターに必要なエネルギーをより安定的かつ効率的に使用できるエネルギー特化型ソリューションを提供しています。SKが開発したWHRC(燃料電池排熱回収冷却システム)は、高温の排ガスを回収し冷房用エネルギーに変換する技術です。AIデータセンターのサーバー冷却システムにエネルギーを供給し、従来の冷却システムの負荷を軽減または代替します。さらに、次世代の熱管理技術である液浸冷却分野でもリードしています。従来の空冷方式に比べて冷却電力消費と運用コストを大幅に削減する液浸冷却フルードに続き、高発熱部位に液浸冷却オイルを直接噴射する精密液冷製品の開発に注力するなど、データセンターごとに最適化された冷却ソリューションを提供しています。



液浸冷却ソリューション (SKエンムープ)



GPUクラスター「海印(Haein)」(SKテレコム)

OPERATING SOLUTIONS

SKは、加山(カサン)AIデータセンターに初の「ブラックウェルB200」GPU基盤の単一GPUクラスター「海印(Haein)」を構築し、ソブリンGPUaaS(GPU-as-a-Service)を提供しています。GPUaaSは、大規模モデルの学習・推論向けに設計されたGPUクラウドインフラを提供するサブスクリプション型AIクラウドサービスです。B200基盤の単一クラスターの構築と独自ソリューションの活用、安定運営により、韓国のGPU不足問題を解消し、AIデータセンター市場をリードすることで、K-ソブリンAIインフラ拡充に貢献してまいります。

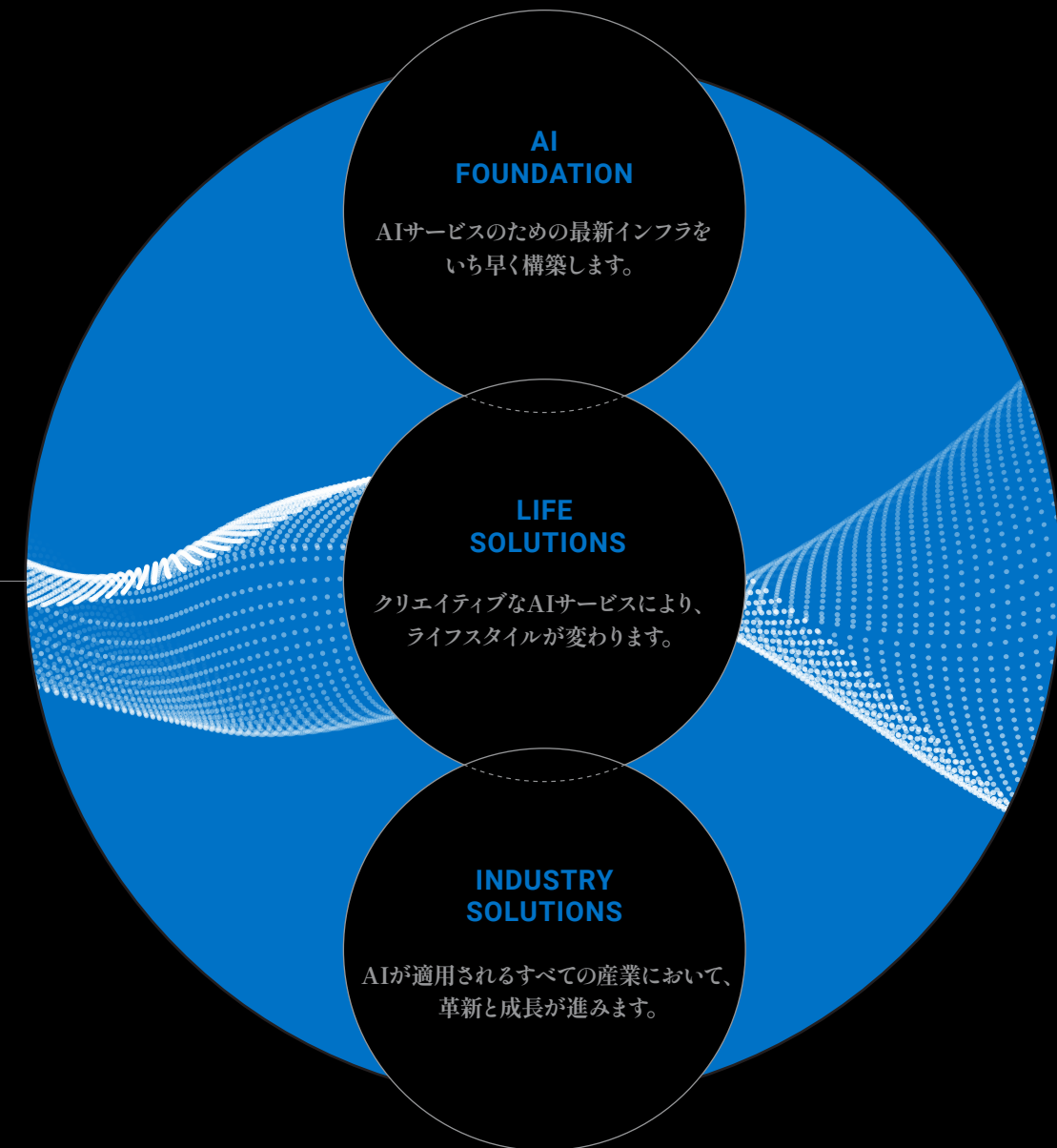
SKは長年にわたり蓄積してきた優れたネットワーク技術とインフラを基盤に、グローバルビッグテック企業と協力し、エッジ(Edge) AIやAI無線アクセスネットワーク(AI-RAN)を積極的に推進しています。データをクラウドに送信せず、基地局やエッジサーバーで直接処理することで、ネットワークとセキュリティ効率を一層高めるエッジAIは、AWSと連携し、ユースケーステストなどの中長期研究開発(R&D)協力体制を強化しています。また、第6世代移动通信(6G)のコアインフラとして注目を集める知能型基地局AI-RANについては、エヌビディア(NVIDIA)と技術共同研究や実証まで一貫して取り組んでまいります。

SKは、AIデータセンターの多様なリソースを効率的かつ安定的に管理できる最適なソリューションも提供しています。AIデータセンターの運用環境を最適化する「データセンターインフラ管理(DCIM)システム」や、複数のデータセンターのセキュリティ機能を統合的に管理する「AIDCセキュアエッジ(SecureEdge)」を提供しています。さらに、構築したAIデータセンターとGPUクラスターを基盤とする高性能・高効率のクラウドプラットフォーム「ペタサス(Petasus)AIクラウド」や、AI資源をクラウドサービスの形態で提供する「AIクラウドマネージャー」によって、運用効率の向上に努めています。



AIデータセンター運用管理・セキュリティソリューション (SKテレコム)

CREATING AI VALUE



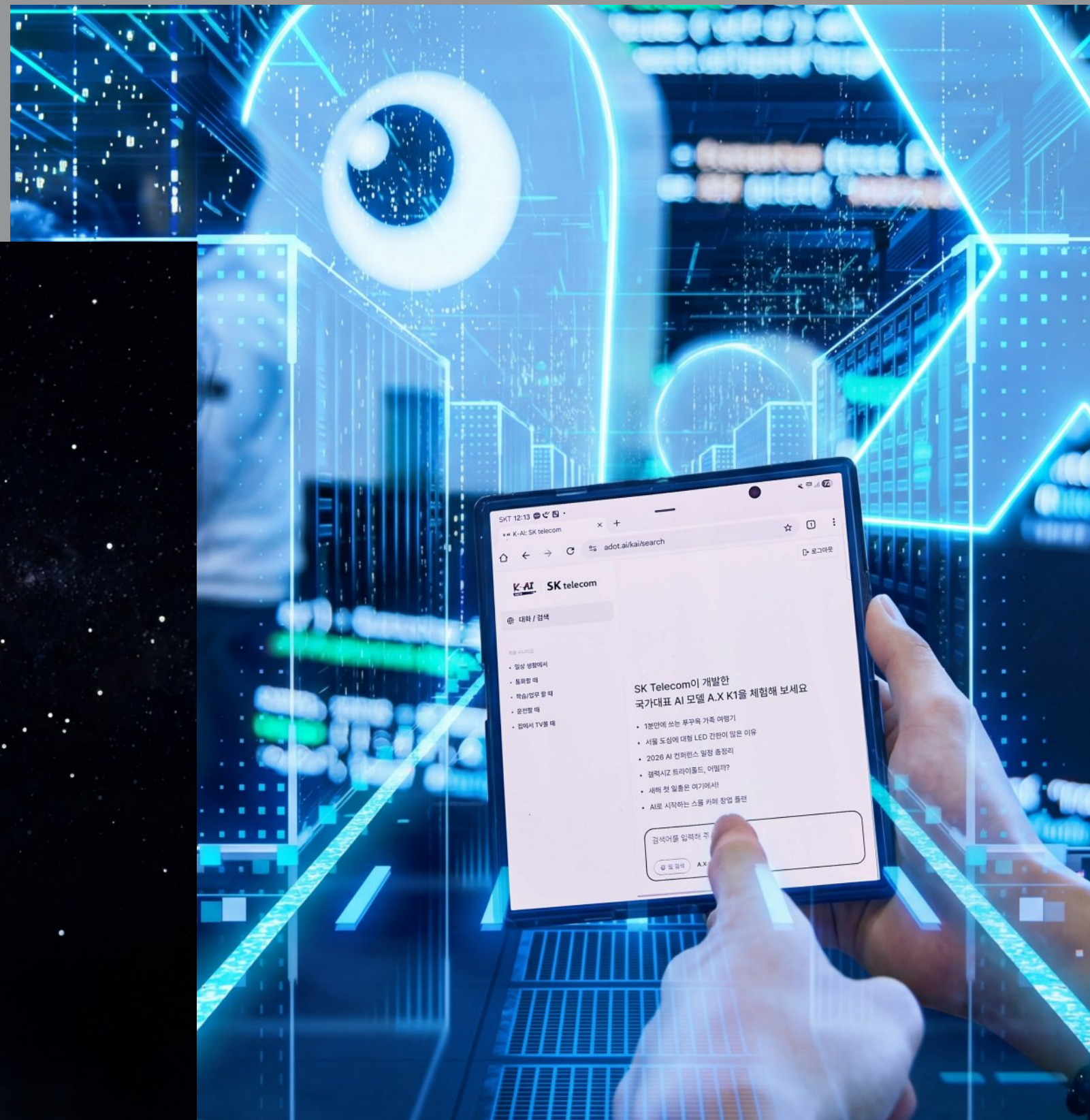
進化したAIサービスが、
暮らしの幸せと産業の発展を支えます。

SKのAIサービスは暮らしと産業の革新に貢献し、AI時代における驚異的な進化を牽引しています。超巨大AIモデルを中心に、独自のAIファウンデーションモデルの開発に注力しており、暮らしの様々な問題を共に解決するAIエージェントをはじめ、社会的弱者を支援するAIに基づく行動分析ソリューション、健康的な生活を実現する超知能型統合AIウェルネスプラットフォームなど、有用なライフソリューションを次々と展開しています。また、各種産業現場に適用されるフィジカルAIやメンバー向けの業務用AIエージェント、AI能力強化プログラムなど、最適なインダストリーソリューションを提供し、生産性の向上に一役買っています。暮らしの幸せを育み、産業の成長を支えるために、SKのAIサービスはいつも皆さまと共にあります。

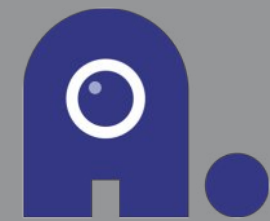


AI FOUNDATION

独自のAI基盤モデル(Foundation Model)の開発に取り組んできたSKは、自社技術により構築した大規模言語モデル(LLM)「A.X」3.1、4.0に続き、韓国初の500B規模の超巨大AIモデル「A.X K1」をオープンソースで公開し、韓国内外から高い評価を得ています。さらに、AIの各分野をリードする企業との連携のもと、テキストだけでなく画像、音声、動画など多様なデータを統合的に処理できる「オムニモーダル(Omni-Modal)」技術を適用した超巨大AIモデルの開発を持続的に推進してまいります。



超巨大AIモデル「A.X K1」(SKテレコム)



LIFE SOLUTIONS

SK의 AI 서비스「A.(에이드ット)」は、最新のAI技術であるエージェンティック・ワークフロー(Agentic Workflow)を取り入れた4.0バージョンをリリースし、進化を続けています。お客様の日常生活の利便性向上をサポートするサービスから、日常生活の様々な活動を代行する「パーソナルAIエージェント」へと進化の方向性を拡大しています。A.(エイドット)は、お客様に対する深い理解と対話、記憶をもとに、より多くの使用事例から最終的なアクションまで自律的に実行し、AI体験を完成させています。さらに、AI通話を超えてセキュリティ分野へと進化した「エイドット電話(A. Phone)」や、対話型AIを通じて運行パターンや走行状況を総合的に把握し、カスタマイズされたサービスを提供する「エイドットオート(A. Auto)」など、お客様の暮らしに寄り添うために、AIサービスを幅広い分野へと拡大しています。

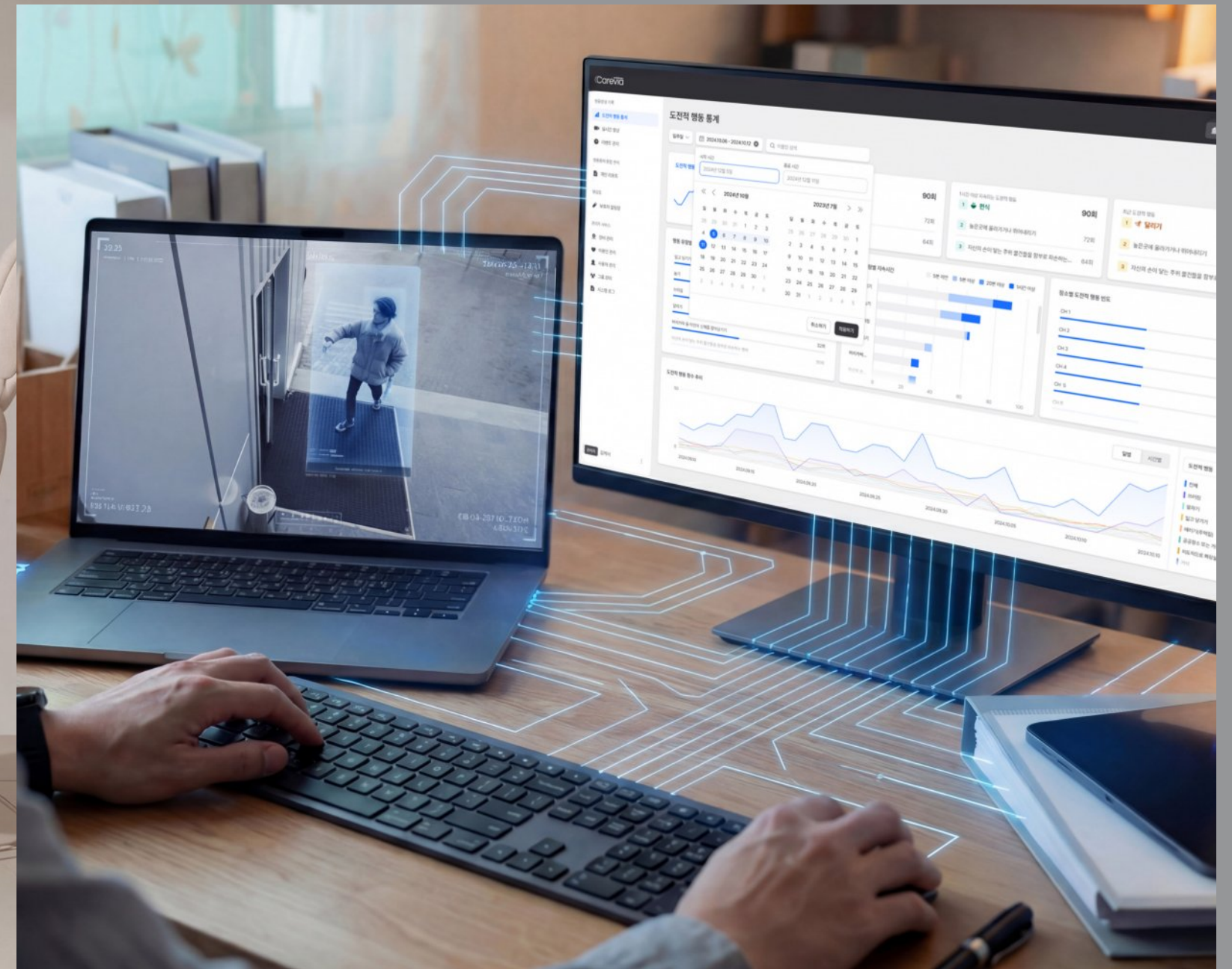


パーソナルAIエージェント 「エイドット電話(A. Phone)」、「エイドットオート(A. Auto)」(SKテレコム)



ウェルネスロボット「ナムエックス(NAMUH³)」(SKインテリクス)

SKが世界で初めて公開したウェルネスロボット「ナムエックス(NAMUH³)」は、自律走行と100%音声操作機能をベースに、空気清浄やバイタルサインのチェックといった革新的な機能を提供します。Googleの最先端AIモデル「ジェミニ(Gemini)」を搭載させることで、性能が一層強化されました。今後は、多種多様なウェルネス分野へとサービスを拡大し、日常生活全般をケアする超知能型統合AIウェルネスプラットフォームへと進化させていく計画です。また、社会的弱者を支える温かいAIの開発にも取り組んでおり、その一例として、発達障害者のチャレンジング行動をリアルタイムで認識・分析するAI行動分析ソリューション「ケアビア(CareVia)」を開発し、全国の発達障害者支援センターに提供しています。ケアビアの導入によって、ケアスタッフの負担軽減や迅速な介入、現場の業務効率化やチャレンジング行動の減少など、実質的な成果が上がっています。



AI行動分析ソリューション「ケアビア(CareVia)」(SKテレコム)



AIを活用した知能型安全管理ロボット (SKハイニックス)

INDUSTRY SOLUTIONS

SKは、NVIDIAのOmniverseプラットフォームを基盤に、製造現場のデジタル資産化や製造プロセスのシミュレーションなど、製造業の運営効率を最大化するためのプラットフォームを構築しています。韓国唯一の製造AIクラウド運営事業者として、国内製造業エコシステムがAIを活用して生産性と効率性を高めていけるよう支援していく計画です。韓国唯一の製造AIクラウド運営事業者として、韓国製造業のエコシステムをAI基盤へと転換することで、生産性と効率性の向上を支援していく計画です。一方、SKはフィジカル (Physical) AIの分野においても業界をリードするべく、NVIDIAのロボット開発・シミュレーション技術とヒューマノイドロボットのファウンデーションモデルを融合させたロボット学習プラットフォームを構築しています。また、AIを活用したインテリジェント安全管理ロボットを製造・建設現場に導入し、故障予測や精密モニタリング、危険作業の代替などを通じて、事業場の安全を守る役割を担っています。また、AIを活用した知能型安全管理ロボットを製造・建設現場に導入し、故障予測や詳細なモニタリング、危険作業の代替などを行うことで、作業現場の安全を確保しています。



業務用AIエージェント「エイドットビズ(A.Biz)」(SKテレコム)



AI Market Intelligence (SK株式会社AX)

SKは業務用AIエージェント「エイドットビズ(A.Biz)」の適用をIT・製造・石油化学など様々な産業分野へと拡大しています。メンバーらはエイドットビズが日常業務を代行することにより、重要な業務に集中しやすくなるため、AI技術を活用した「働き方改革」が進んでいます。さらに、市場の変化を検知し、今後の価格や需要予測、意思決定支援を行うAI予測モデル「MI(Market Intelligence)」や、AIの理解と活用の基本スキルを体系的に学習できるAI基礎・応用能力向上プログラム「AIリテラシー(AI Literacy)」、実践的なAI・SWエンジニアリングの能力強化プログラムとして、実際の事業やプロジェクトの全過程を経験しながら、AI基盤のサービスやシステムを直接構築できるよう支援する「AIブートキャンプ(AI Bootcamp)」などを提供しています。これにより、現場の課題を解決する革新的なAIソリューションを提供し、SKだけでなく産業全体のAIトランスフォーメーションをリードしています。

An abstract graphic on the left side of the page, featuring a blue wave-like pattern composed of many small dots and lines, creating a sense of motion and digital connectivity. The background is a dark blue gradient.

SK TODAY

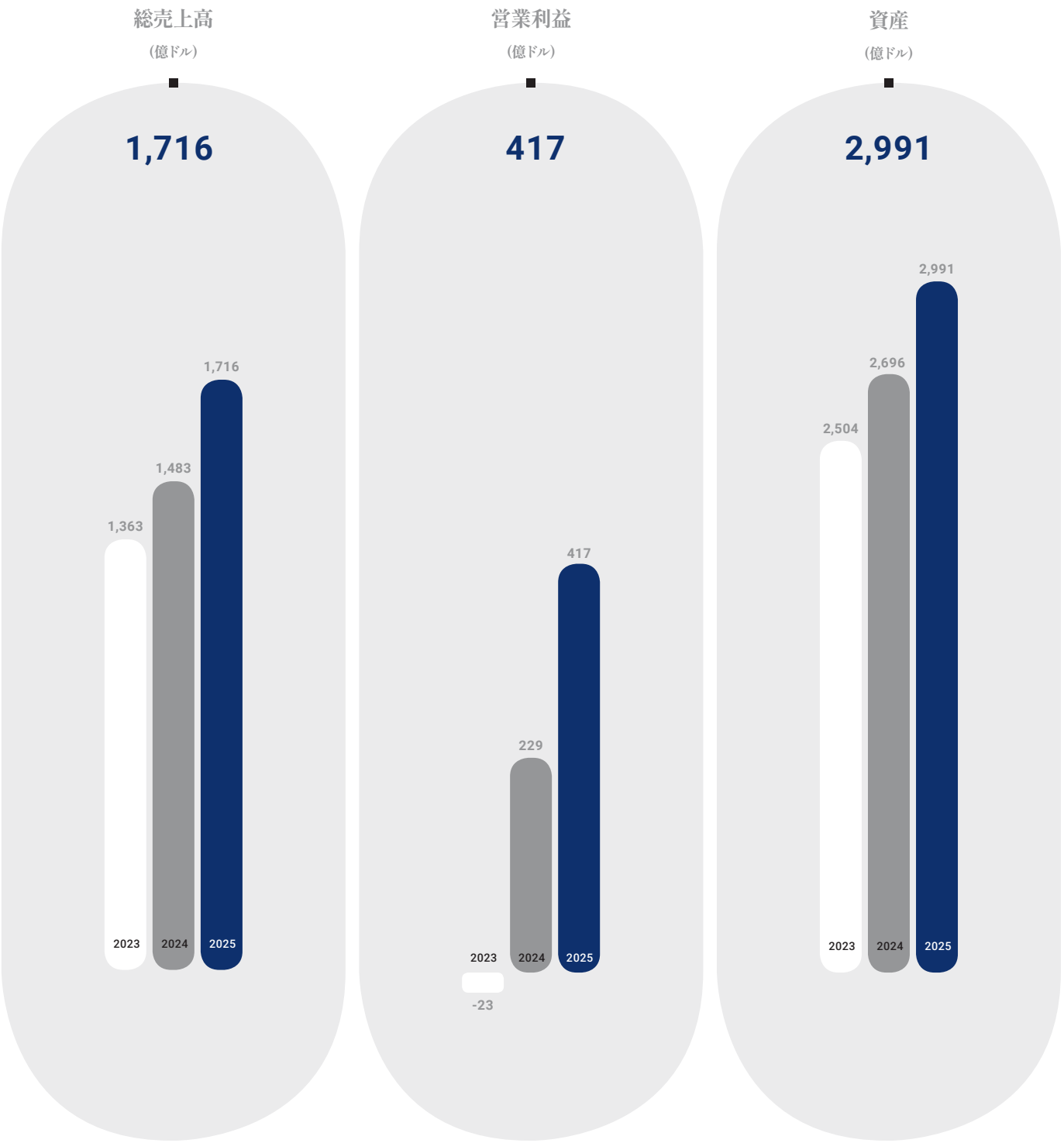
SK continues to grow, demonstrating leadership across key sectors such as semiconductors, energy, ICT, and biotechnology.

We are strengthening this leadership position through strategic investments, technological innovation, and global collaboration.

SKは半導体、エネルギー、情報通信、バイオといった各分野で優れたリーダーシップを発揮し、成長を続けています。戦略的投資と技術革新、グローバルな協力をさらに強化しつつ、世界をリードする企業を目指してまいります。

SK GROUP HIGHLIGHTS

SKは、激変するグローバル経営環境に先手を打って対応し、成長を続けています。
2025年時点で、資産は2,991億ドル、売上高は1,716億ドルを記録し、安定した財務基盤を確保することで
バランスの取れた成長を追求し、未来の成長基盤を築いています。



2

韓国財界の順位

* 2025年5月、韓国公正取引委員会発表の資産総額基準



114

2025年FORTUNE GLOBAL 500順位



AAA

MSCI ESG格付けにおいて最高評価

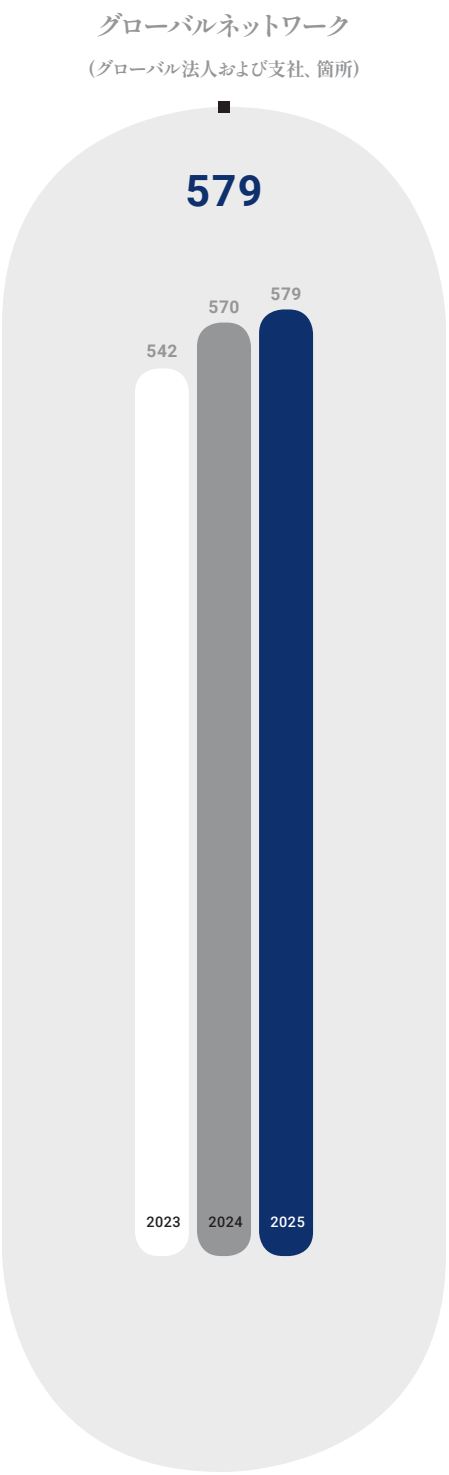
* 2025年基準



181

系列会社数

* 2026年1月、公正取引委員会発表基準



GLOBAL NETWORKS

SKはアジア、オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、中東・北アフリカなど、世界中に生産・販売・マーケティング・R&Dネットワークを構築しており、
現地のお客様向けにさまざまな事業を展開しています。特に、グローバルパートナーシップ(Global Partnering)により、
長期的な視野で、現地のパートナー企業や地域社会と協力しながら成長するローカライズ戦略を追求しています。



933

SKグローバル資産
(億ドル)

1,117

SKグローバル売上高
(億ドル)

579

SKグローバル法人および支社
(ネットワーク)

40,168

SKグローバルスタッフ

SK GROUP HISTORY

1953年に創業したSKは、独特の根性と知性により危機を克服し、チャンスを創出しながら韓国を代表するグローバル企業へと成長してきました。卓越した洞察力と先見の明をもって、時代を先取りしたディープチェンジ(Deep Change)を実行し、繊維から石油、エネルギー・化学、情報通信、半導体、バイオなどへと事業領域を拡大し続けてきました。世界最高水準のメモリ技術を保有し、北東アジア最大規模のデータセンターを構築、エネルギーソリューション事業をリードするなど新たな成長基盤を築き、グローバルAI企業としての存在感を高めています。



SKMS



SK Management System

1979年に制定されたSKMSは、SKの経営哲学とそれを経営に反映するための方法論であり、企業が長く存続、発展していくにはどうしたらいいのかと考え抜いて生み出されたものです。そして、その中心には「人の無限の可能性への信頼」があります。

SKは幾度もの危機を乗り越えながら、発展と革新を重ねる中で、最も重要視してきた価値は資本や技術ではなく、これらすべてを可能にする無限の潜在能力を持つ「人」でした。SKは、メンバーが自主的かつ意欲的に考え抜くことで、人間の能力の最高水準に到達できるとし、その最高水準を「SUPEX」すなわちSUPER Excellentと定義しています。SKのメンバーは、SUPEXを追求する企業文化を育んできました。

SKMSの志向は、時代の流れとともに、企業の利益追求からメンバーやステークホルダーの幸せへと進化してきました。SKは、メンバーがSUPEXに到達するために最高の能力を発揮し、幸せを追求することで、企業も持続的に成長していくと信じています。これにより、経済的価値と社会的価値、そして私たちの幸せを最高レベルで創出していくことが、次の70年を準備するSKの目指す方向です。



メンバーの幸せ | Happiness of SK People

メンバーは自らの選択によってSKに集まった人々であり、経営の主体かつ会社そのものです。SKを構成するメンバーは、SKという共同体と共に歩むことで、より大きな幸せを実現できると信じ、その信頼のもとに、自ら幸せを創り出しながら幸せの輪を広げていきます。



社会的価値 | Social Value

SKはさまざまなステークホルダーのより大きな幸せを創出することも、私たちの役割だと考えています。SKはステークホルダーの幸せのために会社が生み出すすべての価値を「社会的価値」と定義し、積極的に取り組んでいます。私たちを取り巻く人々を幸せにすることで、SKも幸せになる、これがSKの追い求める価値です。



SUPEX追求 | SUPEX Company

より幸せな会社になるために、SKは人間の能力で到達可能な最高水準であるSUPEXすなわちSUPER Excellentを目標とし、それを達成するために努力しています。経済的価値と社会的価値、そして私たちの幸せをすべて高い水準で創出するSUPEX Companyによって、幸せな世界を築いていきます。



自主的・意欲的な頭脳活用 | VWBE* Culture

SKはメンバーが幸せ追求の主体であり、SUPEX追求もメンバーが最高の能力を発揮しなければ実現できないことを熟知しています。私たちは、最高の能力が発揮される自主的・意欲的な頭脳活用を「覇気」と定義し、覇気のあるメンバーを育成していきます。

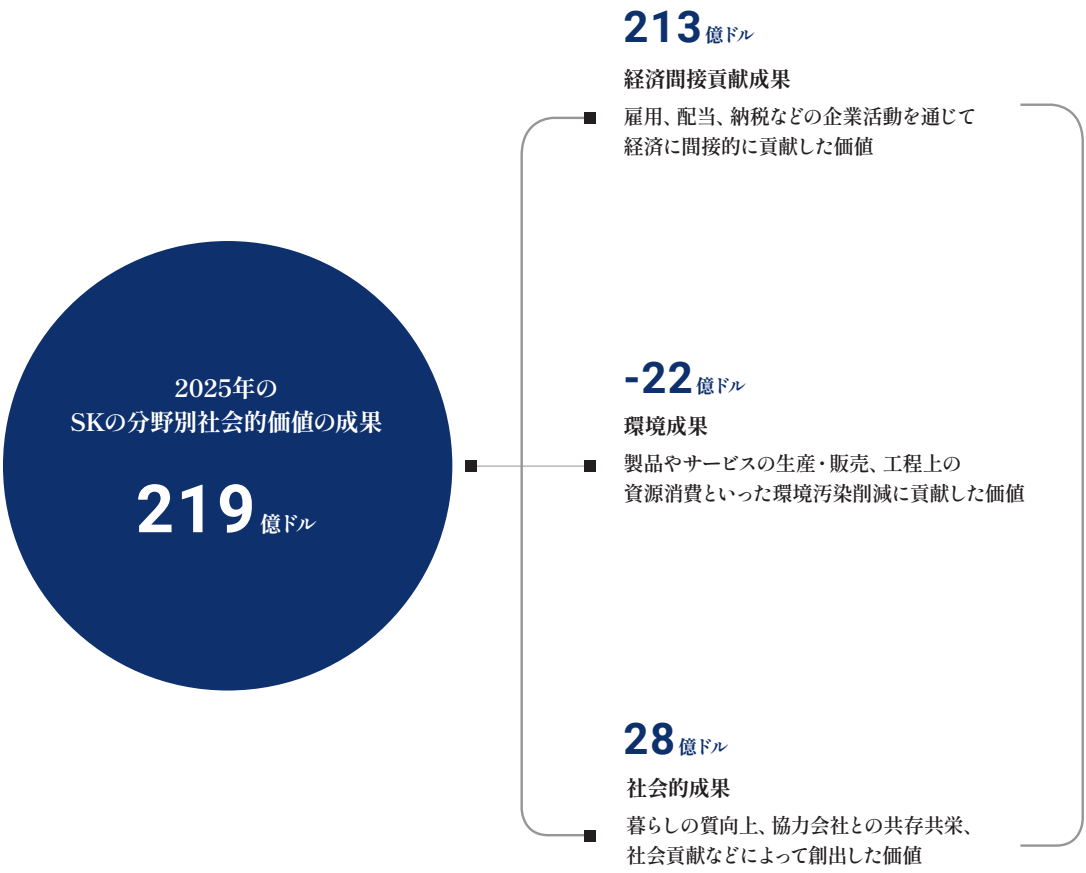
* VWBE: Voluntarily Willingly Brain Engagement

SOCIAL VALUE

DBL Management and Social Value Measurement

SKは、企業が保有するイノベーション能力を活かして経済発展に貢献し、社会的価値の創出というより、ステークホルダーにできる限り多くの幸せをお届けするために日々努力しています。

DBL経営により、毎年、社会的価値の成果を測定・管理し、ステークホルダーとの信頼関係を深めています。



DBL経営と社会的価値の貨幣的評価

SKは2018年から、経営活動全般において経済的価値と社会的価値の創出を同時に追求する「DBL(Double Bottom Line)経営」を導入しており、それに基づいてビジネスモデルの革新を推進しています。

また、毎年SKが創出した社会的価値の成果を測定・公開し、VBA(Value Balancing Alliance)*に副会長企業として参加し、グローバル企業とともに社会的価値の測定方法論を開発しています。

*VBA(Value Balancing Alliance): グローバルな社会的価値測定体制の確立を目的とした企業間の協力イニシアチブ

ESG

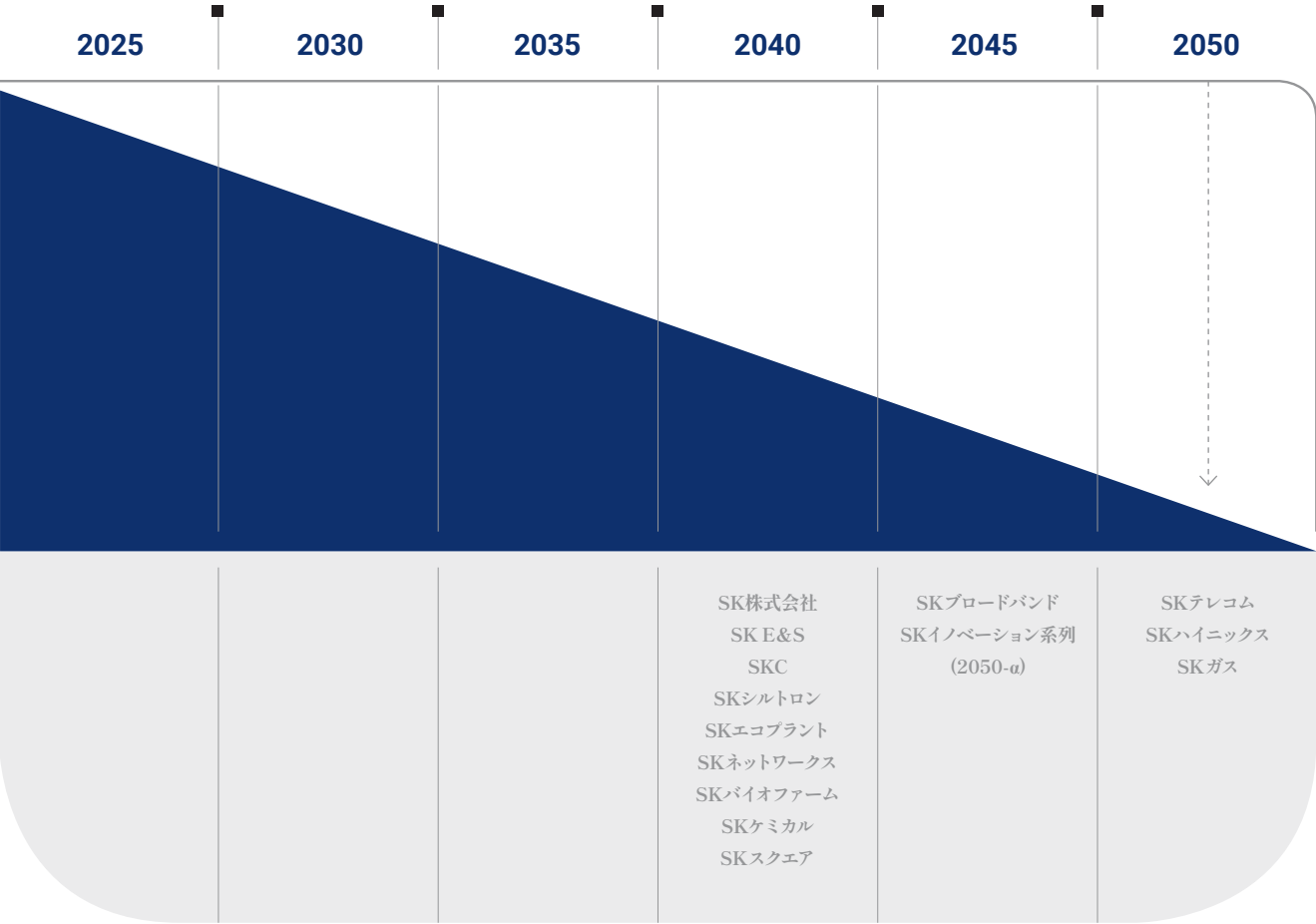
Environmental: Commitment to Sustainable Future

SKは韓国企業として初めてRE100に加盟し、「Net Zero」を宣言して気候変動に対し積極的に対応しています。

低炭素・脱炭素ビジネスへの転換を目指して「2050-α」という挑戦的な達成時期を設定、年次ごとの削減目標と具体的な実行計画を策定・実行しています。また、2030年までに世界の温室効果ガス削減目標量210億トン*のうち1%にあたる2億トンの削減に直接・間接的に貢献するべく、生産設備の効率改善、革新的な炭素削減技術の開発、RE100の体系的な実施、電気自動車バッテリーや水素といった未来の低炭素エコ事業への投資拡大、サプライチェーン全体の炭素排出量管理に取り組んでいます。

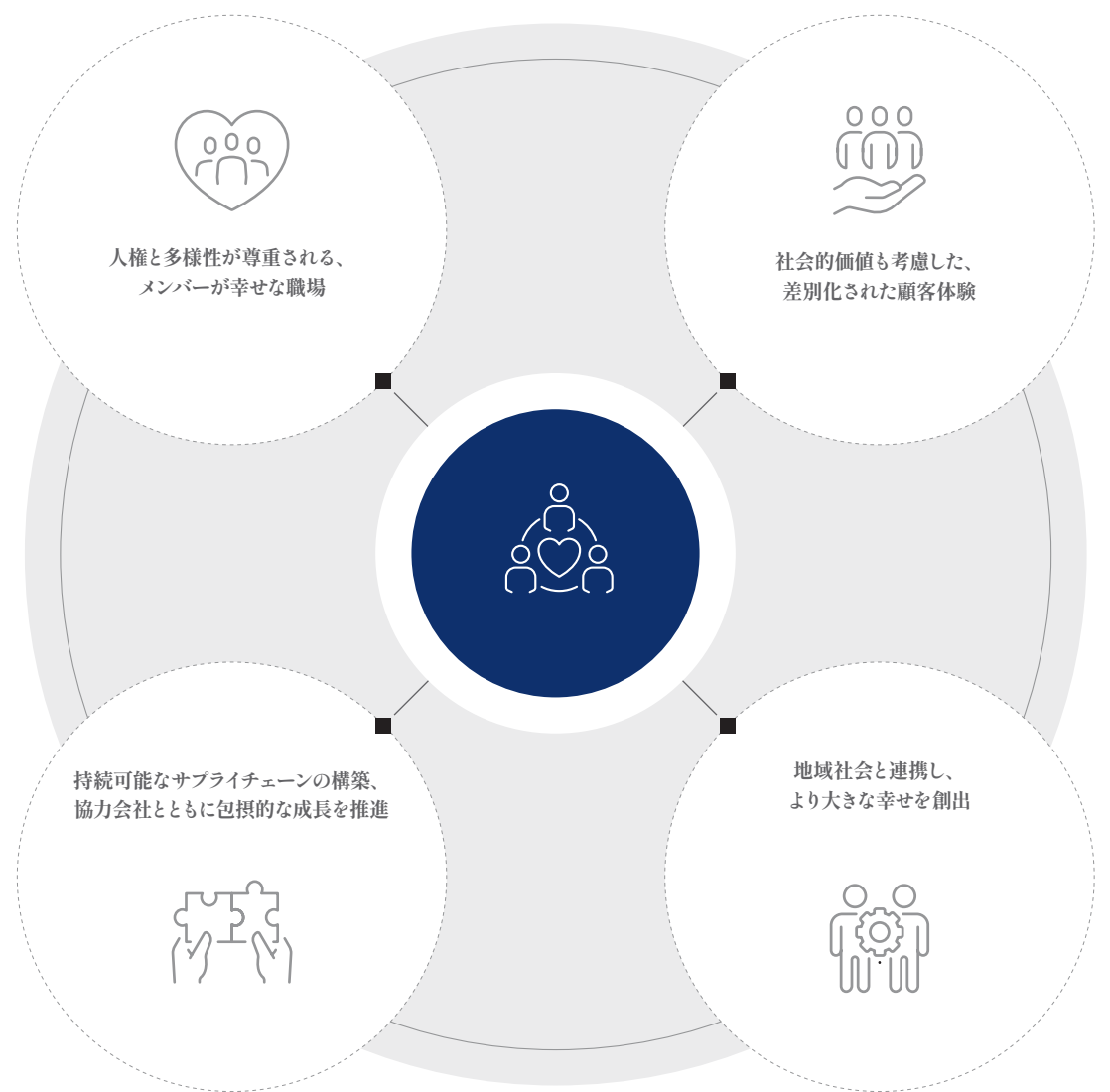
* 出所: IEA, 'Net Zero by 2050 Report' (2021)

SK “2050-α” Net Zero Roadmap



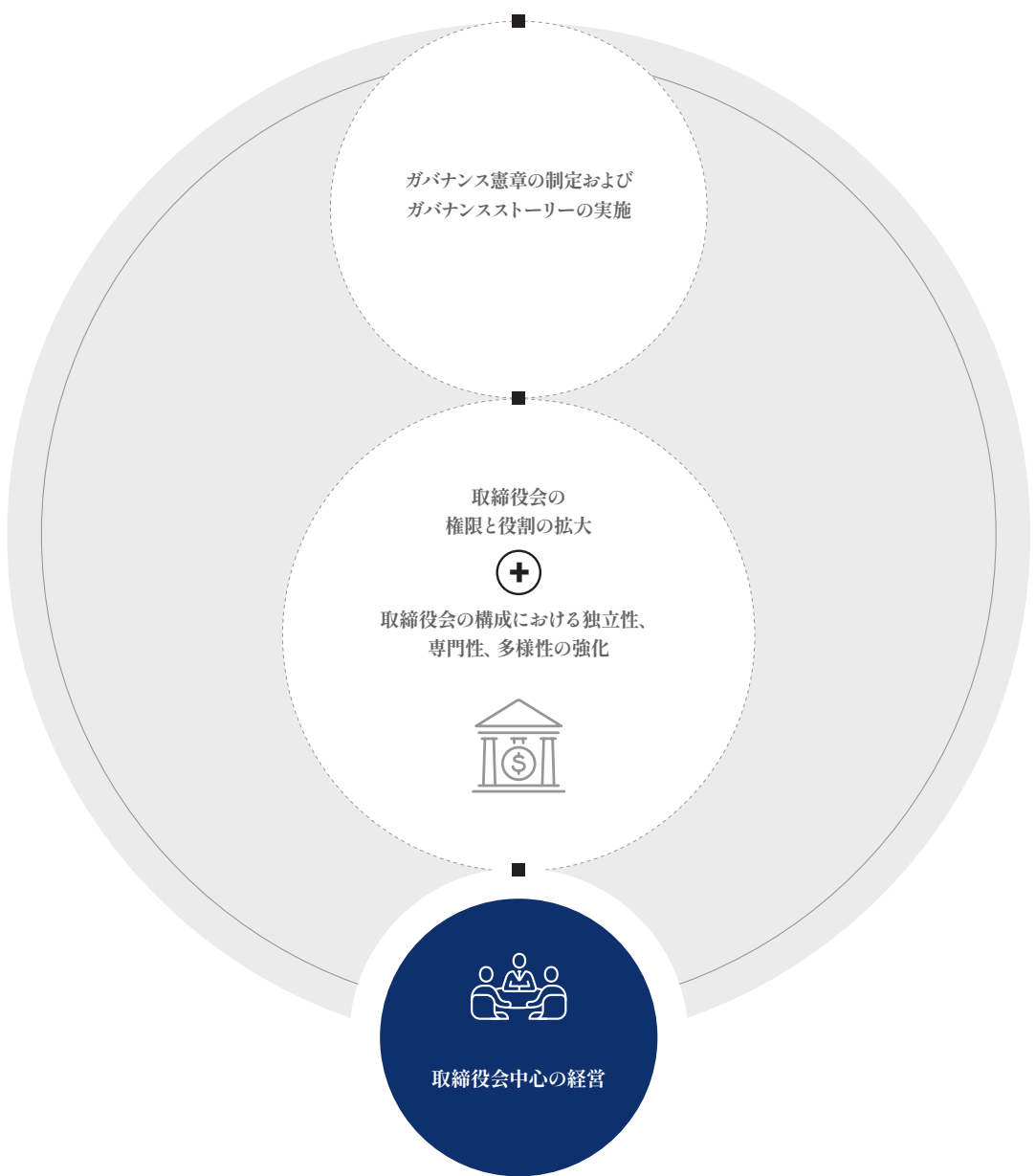
Social: Sustainable Happiness for All

SKは、多くのステークホルダーからの信頼と支持によって成長してきました。SKのメンバーの献身と努力に加え、お客様、協力会社、地域社会などさまざまなステークホルダーからいただいた機会と一貫した応援のおかげで、これまで大小さまざまな成功を収めることができました。今後はより大きな幸せをもってお返ししていきたいと考えています。経営活動全般においてすべてのステークホルダーを尊重し、緊密にコミュニケーションを取りながら、ステークホルダーはもとより社会全体の幸せを育む「幸せの供給者」になってまいります。



Governance: Beyond Global Standards

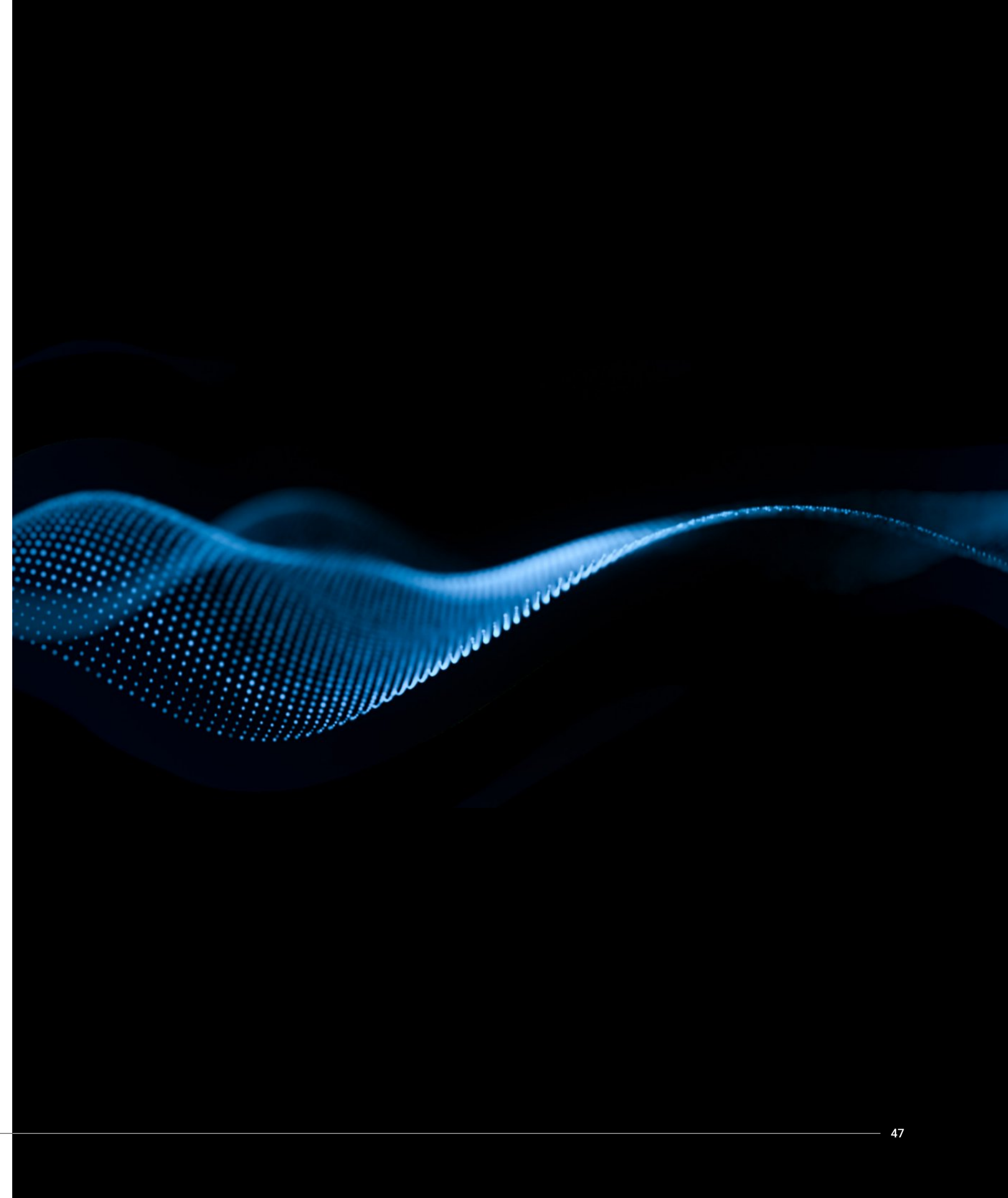
SKはグローバルスタンダードを超えるレベルの取締役会中心の経営を通じて、ステークホルダーから信頼されるガバナンス体制を構築しています。独立性・専門性・多様性を兼ね備えたSKの取締役会は、取締役会が本来の役割を果たしてこそ真の責任経営が可能になるという信念のもと、会社の持続可能な発展のために知恵と能力を結集して、正しい意思決定を行うよう努めています。また、意思決定の過程において、SKのメンバーやバリューチェーン内のステークホルダーの幸せも考慮しています。そのために、ガバナンス憲章を制定し体系的に実行に移していきながら、SK独自のガバナンスストーリーを構築しています。



SK COMPANIES

SK's affiliates grow together,
based on a shared foundation of
fundamental competitiveness that
creates powerful synergies.
By serving as providers that offer
the most efficient solutions,
we deliver optimal answers to
the dynamic needs of the AI era.

SKの系列会社は、本源的な競争力を基盤に、
強力なシナジーを発揮しながら共に成長しています。
最も効率的なソリューションを備えた事業者へと進化し、
AI時代が求める最適な答えを提供してまいります。



SK Inc.

SK株式会社

事業領域

ポートフォリオマネジメント、
SK株式会社AX事業
www.sk-inc.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ26
SKビル

2025年の売上高

25億ドル(単独基準)

SK株式会社は持株会社として保有ポートフォリオのマネジメントを行うとともに、AX事業を展開しています。ポートフォリオマネジメントとしては、企業価値向上のために保有ポートフォリオの価値向上活動を推進し、選択と集中により成長を図っています。持株会社として、子会社が本源的な競争力を強化できるよう収益性の最大化、投資資産の効率化、キャッシュフロー管理の強化など、様々なバリューアップ活動を牽引しています。

また、グループの事業が適切に位置づけられ、事業間のシナジーを最大化できるようにポートフォリオの再編も進めています。さらに、グループ全体における新たな成長事業を発掘するために、AI、エネルギーソリューション、半導体といった将来有望な分野について研究や投資の機会を模索しています。今後も未来を見据えた積極的なポートフォリオマネジメントによって、保有ポートフォリオの成果と企業価値が直結する体制を築いてまいります。



SK hynix

SKハイニックス

事業領域

メモリ半導体(DRAM、NAND)、
システム半導体(ファウンドリ)
www.skhynix.com
京畿道李川(イチョン)市ブバル邑
キョンチュン大路2091

2025年の売上高

611億ドル
* 連結基準683億ドル

SKハイニックスは、DRAMとNANDフラッシュを手がけるメモリ半導体の専門企業であり、AI時代をリードするグローバルな一流技術企業です。世界で初めて次世代AI用メモリ「HBM4」を開発、量産体制を構築することで、HBM分野で独自の技術リーダーシップを維持しています。HBM4は前世代と比較して帯域幅を2倍に拡大し、電力効率も40%向上しており、超高性能AI演算システムに最適なソリューションとして評価されています。また、顧客ニーズに合わせた「カスタムHBM」も公開し、差別化されたAIメモリソリューションを提案しています。

主力のDRAM製品群では、世界で初めて10ナノクラスの第6世代(1c)微細プロセスを採用した「DDR5 DRAM」の開発に成功し、さらに世界最高スペックの48Gbps「GDDR7 DRAM」を公開することで、高性能グラフィックスメモリ分野の技術でもトップクラスを維持しています。NAND分野では、世界最高層の「321層4D NANDフラッシュ」を量産しており、オンデバイスAIなどのモバイル用NANDソリューションや、AI PC、データセンター向けの高性能SSD、超大容量SSDなど、多彩なストレージポートフォリオを備え、AIストレージ市場をリードしていきます。

SKハイニックスは今後も、「フルスタックAIメモリークリエイター(Full Stack AI Memory Creator)」として、次世代AIメモリ市場を牽引していく計画です。AIエコシステムと積極的に連携して最高のAIメモリを供給しつつお客様の課題を共に解決し、期待以上の価値を創出してまいります。



SK innovation

SKイノベーション

事業領域

エネルギーV/Cポートフォリオ管理、
R&D
www.skinnovation.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ26
SKビル

2025年の売上高

34億ドル
* 連結基準565億ドル

SKイノベーションは、SKオン、SKエナジー、SKジオセントリック、SK仁川石油化学、SK IEテクノロジー、SKアースオンの6つの事業会社と、社内独立企業(CIC)であるSKイノベーションE&Sで構成される持株会社です。韓国初の精油工場から始まったSKイノベーションは、エネルギー、化学事業、グローバル資源開発、バッテリー、素材事業などを通じ、世の中を動かす原動力を創り出してきました。特に、2024年にはSK E&Sが合併を通じて、LNG、電力、再生可能エネルギーに至るエネルギー全領域のバリューチェーンを完成させ、アジア・太平洋地域最大の民間総合エネルギー企業へと生まれ変わりました。

SKイノベーションは、持株会社としてSKイノベーショングループが保有する「現在と未来のエネルギーを網羅するバランスの取れたエネルギーポートフォリオ」のマネジメントに取り組み、事業の本源的競争力の強化とともに、事業間のシナジーとグローバル競争力の確保を支援しています。また、環境科学技術院を中心にR&Dの成果を創出し、持続可能な成長基盤を築いています。今後も将来の新たな成長分野を発掘し続け、より良い世の中をつくる「Total Energy Company」へと変革を遂げてまいります。



SK telecom

SKテレコム

事業領域

有線・無線通信、セキュリティ、
コマース、プラットフォームサービス

www.sktelecom.com
ソウル市中区ウルチロ65 SK Tタワー

2025年の売上高

85億ドル
* 連結基準120億ドル

SKテレコムは、1984年の第1世代アナログ携帯電話の開始から2019年の世界初の5G商用化に至るまで、約40年間にわたり韓国のICT産業の発展を牽引してきました。現在は通信事業全体にAIを適用し、ビジネス体制を「AI Native Telco」に再編成しています。インフラからモデル、サービスまでを網羅するフルスタックAIの能力を備え、韓国の「AI G3」への道を切り拓いています。

全国に1GW以上の超巨大AIデータセンターのインフラの構築を推進しており、蔚山(ウルサン)のAIデータセンターを起点に、東西を結ぶインフラベルトの構築を計画しています。技術力の核心となる韓国代表の独自モデル「A.X KI」は、500B以上のパラメータを確保し、グローバル水準の性能を検証しました。今後はマルチモーダルモデルへと進化し、暮らしと産業の全分野に革新的な価値を展開していく予定です。また、韓国の製造競争力向上のために「製造AIソリューションパッケージ」を開発し、産業現場に拡大していきます。さらに、ユーザーの記憶や文脈を活用する個人秘書「エイドット」や、業務の生産性向上を支援する「エイドットビズ」によって、実質的なAIサービスを提供しています。

SKテレコムは、政府、産業界、グローバルパートナーと緊密に協力する「ドリームチーム」の中心となって韓国の力量を結集させ、韓国が世界的なAI強国へと発展できるよう貢献していく所存です。さらに、技術的進歩だけを追求するにとどまらず、お客様の声を経営全体に徹底的に反映する双方向のコミュニケーションを通じて、社会から最も信頼される企業へと生まれ変わってまいります。

SK discovery

SKディスカバリー

事業領域

化学、エネルギー、医薬品・バイオ
www.skdiscovery.com
京畿道城南(ソンナム)市ブンダン区
パンギョ路332

2025年の売上高

4,560万ドル
* 連結基準72億ドル

SKディスカバリーは、SKケミカル、SKガス、SKプラズマといった競争力のある子会社を擁する持株会社です。持株会社として、財務の安定性に基づく効率的な経営を行い、持続的な成長基盤を築く一方、子会社を通じてさまざまな事業を展開し、未来の成長に向けた新規事業の開発も積極的に模索しています。さらに、配当政策の策定や自己株式の買い戻し・消却など、株主価値向上にも引き続き取り組んでいます。

グリーンマテリアル分野では、SKケミカルを通じてリサイクルプラスチックなど素材分野の革新とともに、循環型リサイクルソリューションやインフラの構築を推進しています。グリーンエネルギー分野では、SKガスがLPG・LNGから水素・アンモニアなど環境に優しいエネルギーまでを網羅するエネルギートータルソリューション企業へと成長しており、SKマルチユーティリティや蔚山GPSといった発電事業会社を通じて、クリーンエネルギーによる発電システムを構築していきます。

バイオ分野においては、SKプラズマが必須医薬品である血液製剤などの血漿分画製剤を生産・供給しています。また、医薬品の自給化が必要な国々を中心に、現地に血漿分画製剤のインフラとソリューションを導入する新しい形態のグローバル事業を推進しています。SKバイオサイエンスは、インフルエンザ、帯状疱疹、水痘、COVID-19などさまざまな感染症に対するワクチンを供給しており、優れた研究開発(R&D)能力により、グローバルなリーディングカンパニーとのCMO・CDMO事業を拡大しています。



SK on

SKオン

事業領域

二次電池(電気自動車、ESS、
ロボット、防衛産業)、BMS、
BaaS(Battery-as-a-Service)
www.sk-on.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ51
チョンノタワービル

2025年の売上高

49億ドル(バッテリー事業部門)
* 連結基準399億ドル

SKオンは、電気自動車(EV)およびエネルギー貯蔵システム(ESS)用バッテリーの開発・製造・ソリューションまで網羅するグローバルバッテリー企業です。安全性と経済性を兼ね備えた高性能バッテリーを基盤として、急速に成長する電気自動車市場やESS市場の変化にいち早く対応し、次世代のバッテリーソリューションを提供しています。SKオンはグローバルな生産体制を基盤に成長を続け、2025年には中国市場を除くグローバル電気自動車用バッテリー市場で3位のシェアを獲得し、世界市場での競争力が認められています。

SKオンは事業全体の競争力を高め、財務の健全性を強化するために事業構造を再編しました。2024年にはグローバル市場において差別化されたトレーディング競争力を構築したSKオン・トレーディングインターナショナルと合併し、成長性と安定性を兼ね備えたグローバルなバッテリー・トレーディング企業へと生まれ変わりつつあります。SKオン・トレーディングインターナショナルのトレーディングプラットフォームと優れた専門人材を活用し、バッテリー原材料の調達競争力を強化するとともに、サプライチェーンのさらなる安定化にも取り組んでいます。

また、2025年には潤滑基油・潤滑油産業のグローバルマーケットリーダーとして市場の変化を牽引しているSKエンムープと合併し、シナジーを創出しています。SKエンムープはプレミアム基油や超低粘度潤滑油製品を通じてグローバル市場で強い競争力を持ち、電気自動車用潤滑油、液浸冷却フルード、HVACフルードなどの事業ポートフォリオを拡大しながら、電動化時代においても持続可能な成長を続けています。

バッテリー産業が新たな転換点を迎える中、SKオンは電動化時代の未来を見据えて準備を進めています。技術リーダーシップの強化、製品ポートフォリオの多様化、事業アプリケーションの拡大という3つの成長戦略を中心に持続可能な成長を図り、市場の変化に柔軟に対応しています。今後も、SKオンは絶え間ない技術革新とグローバルパートナーシップを基盤として、未来の電動化時代を牽引するバッテリーソリューション供給者をめざしてまいります。

SKエナジーは、1962年に設立された韓国初の精油会社である大韓石油公社から始まり、約60年にわたり韓国経済の発展に貢献してきた代表的なエネルギー企業です。高度化された精製・石油化学が連携した高度な競争力を有する蔚山(ウルサン)コンプレックスにおいて、単一敷地基準で世界第3位の精製能力を基盤に1日に84万バレルの原油を処理し、安定した生産能力を確保しています。

生産された石油製品は、全国のSKガソリンスタンドネットワークや貨物車総合ソリューションサービス「ネトラックハウス」など、様々なチャンネルを通じて供給されています。最高品質の製品はもちろん、給油・充電割引提携カードなど実質的なメリットのあるサービスも併せて提供し、韓国市場シェア第1位を堅持しています。また、韓国内で生産した高付加価値の石油製品を、アジア・太平洋地域を超えて様々な海外市場に供給しています。

持続可能な成長基盤を築くために、工程の運営体制の高度化やマーケットリーダーシップの強化を推進するとともに、AIやデータに基づく意思決定システムを積極的に取り入れ、バリューチェーン全体における収益構造の革新に力を注いでいます。さらに、持続可能な航空燃料(SAF)や中温アスファルト製品など、低炭素・環境配慮型の製品ポートフォリオを拡大し、ビジネスモデルの進化を推進しています。今後も最適なエネルギーポートフォリオを基盤に成長課題を達成し、グローバルな協力を強化して、「北東アジアNo.1の生産・マーケティング競争力を有するエネルギープロバイダー」をめざしてまいります。



SK ecoplant

SKエコプラント

事業領域

AIインフラ、ガス・マテリアル、
資源のライフサイクル管理

www.skecoplant.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区
ケゴクロ2ギル19

2025年の売上高

53億ドル

* 連結基準86億ドル

SKエコプラントは、AIインフラ、ガス・マテリアル、資源のライフサイクル管理(Asset Lifecycle)といった事業同士の有機的な連携によって、半導体やデータセンターのエコシステム全体にわたり強い競争力を発揮しています。これまでに培ってきたEPC(設計・調達・施工)事業の信頼をもとに、半導体製造に不可欠な素材の供給から使用後の資源のライフサイクル管理まで、AIインフラを構築するバリューチェーン全体を網羅し、独自のビジネスポートフォリオを構築しています。

AIインフラ分野では、半導体製造施設やデータセンターといったハイテク分野における専門性とAIインフラソリューションを活用し、収益性を確保しています。優れたEPC能力を強みに、AIデータセンターをはじめとする未来の成長分野でも実績を積み重ね、市場競争力を強化しています。ガス・マテリアル分野では、半導体製造に不可欠なコア素材を開発し安定的に供給することで、お客様の工程効率化や技術高度化を支え、市場でのプレゼンスをさらに強化し、持続可能な収益構造を構築していく計画です。

資源ライフサイクル管理分野では、半導体モジュール製品のサプライチェーンを多様化し、グローバルな資源循環モデルを強化することで、資源循環のループを完成させました。これにより、顧客資産の潜在価値を最大化する循環型エコシステムを展開しています。SKエコプラントは、このように調和のとれた成長を重ね、AI時代をリードする「AI Infra Solution Provider」として、他社とは一線を画す未来価値を創出してまいります。



SK geo centric

SKジオセントリック

事業領域

化学素材

www.skgeocentric.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ51
チョンノタワービル

2025年の売上高

70億ドル

* 連結基準81億ドル

SKジオセントリックは、2011年にSKイノベーションから分社化された化学専門企業です。2021年に従来のSK総合化学から社名を変更し、新たにスタートしました。1972年に韓国初のナフサ(Naphtha)分解設備(NCC)を稼働させて以来、SKエナジーの精製工程で生産されたナフサを主要原料として、石油化学産業全般に基礎素材を供給してきました。現在 は、基礎石油事業と化学素材事業を中心とする多種多様な産業に必要な素材を、安定的に供給しています。

基礎油化事業では、ナフサなどを原料として、エチレン、プロピレン、ブタジエンといった石油化学の基礎原料であるオレフィン系製品や、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの芳香族系製品を生産・供給しています。化学素材事業では、基礎油分をもとに、LLDPE、HDPE、PPなどの主要ポリマー製品に加えPOE、POPなどの製品を幅広く生産・供給しています。また、Performance Chemicals事業により電子材料用溶剤などの製品群も提供しているほか、イソプロピルアルコール(IPA)など半導体用化学品事業も展開し、高付加価値の事業の基盤を強化しています。

SKジオセントリックは今後も、全社的な経営改善(Operation Improvement)活動を通じて本源的競争力を強化するとともに、将来の成長分野と連携した新規事業の発掘を進めていきます。また、製品・事業ポートフォリオの高度化やバリューチェーン全体におけるコスト削減と効率向上を積極的に推進し、収益性の改善に努めてまいります。



SK innovation E&S

SKイノベーションE&S

事業領域

LNG・電力バリューチェーン、
新エネルギー(再生可能エネルギー、
水素、エネルギーソリューションなど)

www.skens.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ26
SKビル

2025年の売上高

* SKイノベーションの売上高に合算して表示

SKイノベーションE&Sは、1999年に都市ガス事業の持株会社として設立されて以来、韓国の民間企業として初めてLNGバリューチェーンを構築し、韓国トップクラスの民間LNG事業者へと成長しました。LNGバリューチェーンの構築における経験と能力をもとに、再生可能エネルギーや水素、エネルギーソリューションなどの新エネルギー分野へと事業を拡大しています。さらに、2024年にはSKイノベーションと合併により大きなシナジーを創出し、LNG・電力バリューチェーンの統合ビジネスモデルを構築しています。

2026年には、オーストラリアのパロッサガス田の商業運転を開始し、海外で直接生産する低コストのLNGの比率を拡大しています。また、龍仁(ヨンイン)半導体クラスターと連携したコージェネレーション事業を段階的に推進し、韓国産業をはじめとしたLNG発電の新たな需要を適時に開拓しています。韓国にとどまらず、ベトナムなどアジアの新興成長国におけるLNG需要の開発や、顧客ニーズに応じた電力供給ソリューションの構築、欧州やアジア地域でのグローバルマーケティングの拡大など、グローバルなLNGプレイヤーを目指して邁進しています。

SKイノベーションE&Sは、電化(Electrification)や脱炭素化(Decarbonization)といったグローバルなエネルギー市場の変化に対応し、再生可能エネルギーパイプラインの開発や水素バリューチェーンの構築、エネルギーソリューション事業の強化などを通じて、持続可能なエネルギー供給基盤を拡大しています。今後も、コア事業の競争力とSKイノベーションとの統合によるシナジーやAXの能力を活かして、お客様のニーズに最適なエネルギーを提供する未来の電気事業者を目指してまいります。



SK broadband

SKブロードバンド

事業領域

IPTV、ケーブルテレビ、
超高速インターネット、有線電話、
専用回線、エンタープライズソリューション(B2B)、データセンター

www.skbroadband.com
ソウル市中区テグロ24南山小月タワー

2025年の売上高

32億ドル

* 連結基準32億ドル

SKブロードバンドは、世界で初めて超高速インターネットのADSLを商用化し、韓国初のPre-IPTVサービスを提供するなど、韓国のメディア・通信市場の革新を牽引してきました。2020年に「T-Broad」と合併した後も事業を拡大し続ける一方、AIを活用した超パーソナライズド・メディアサービス「B・tv・A.」によって顧客の満足度を最大化するなど、メディアプラットフォーム事業者として確固たる地位を築いています。特に、AIやさまざまなICT技術を全事業領域に導入し、「AIリーディングカンパニー」への転換を加速しています。

また、本源的競争力の強化に向けて、通信インフラの高度化にも積極的に取り組んでおり、AIデータセンターの構築や国際海底ケーブル事業の拡大を通じて、持続的成長の基盤を強化しています。エンタープライズ(B2B)分野では、量子暗号通信などの次世代セキュリティ技術を活用した専用回線サービスや、企業向けのカスタマイズ型ICTソリューションを提供し、金融・製造・公共分野をはじめとするB2B顧客のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援しています。

SKブロードバンドはお客様からの信頼を最も大切な価値と考え、商品やサービス、プロセス全体に至るまで、常にお客様視点に立って革新に取り組んでいます。その結果、国家顧客満足度(NCSI)調査において、IPTVおよび超高速インターネットの分野で15年連続1位を獲得するという快挙を成し遂げました。今後も、AIと先進技術を活かして、超パーソナライズド・サービスと次世代デジタルインフラサービスを提供し、メディア・通信産業の未来をリードしてまいります。



SK gas

SKガス

事業領域

LPG、LNG・発電、電力(ESS)、
水素、ガス化学(PDH・PP)、
タンクターミナル、
グローバルエネルギートレーディング

www.skgas.co.kr
京畿道城南(ソナム)市ブンダン区
パンギョ路332

2025年の売上高

29億ドル
*連結基準54億ドル

SKガスは1985年の設立以来、世界最大規模のLPG貯蔵施設と全国の流通網によって、多目的LPGを安定的に供給する韓国のLPG業界を代表する企業です。車両用需要の拡大や新規需要の開拓、小型貯蔵タンク市場の開拓などに取り組むことで、LPG事業の競争力を強化するとともに、LNG、発電、水素などの事業領域も多角化を進め、ビジネスモデルの革新に努めています。

2024年には、韓国初の石油・ガス複合エネルギーターミナルである「コリアエナジーターミナル(KET)」の商業運転をはじめ、世界初のGW級LNG・LPG複合発電所である「蔚山GPS」も商業運転を開始します。これにより、新たな成長エンジンを備えた総合エネルギー事業者へと飛躍しました。また、韓国初かつ最大規模の1万トン級のパンカリング専用埠頭も完成させ、2027年の事業開始を目標にLNGパンカリング事業を推進しています。さらに、2025年には再生可能エネルギーの不安定性を補完する米国のESS事業の第1弾プロジェクトが商業運転を開始しました。

また、次世代エネルギー源である水素のバリューチェーン構築にも注力しており、2025年6月には合併会社のロッテSKエネルト初の水素燃料電池発電所が、商業運転を開始しました。2027年までに4基が順次稼働し、合計80MW規模の電力を供給する計画です。ターコイズ水素への投資や、水素・アンモニアに関する共同研究協定など、海外のパートナーとの協力を通じて、水素事業の基盤を一層強化しています。今後も事業ポートフォリオの革新を重ね、未来のグローバルエネルギー市場をリードする「Net Zero Solution Provider」を目指してまいります。

SK square

SKスクエア

事業領域

AI分野のチップ、インフラへの専門投資

www.sksquare.com
ソウル市中区ウルチロ65 SK Tタワー

2025年の売上高

2億5,140万ドル
*連結基準10億ドル

2021年に設立されたSKスクエアは、ポートフォリオ価値の向上とAI・半導体分野への投資を専門とする持株会社です。2026年3月時点で、SKハイニックスをはじめとする約10社のICTポートフォリオを管理しており、ポートフォリオからの配当収入や投資成果により、安定したキャッシュフローを創出しています。

SKスクエアは、AIの進化におけるボトルネックを解消できる分野や半導体バリューチェーン分野などで、有望な投資機会を模索しています。また、海外投資法人であるTGCスクエアが市場インテリジェンスを先行的に確保するとともに、収益性重視の経営とAI革新によって、ポートフォリオ価値の向上にも努めています。2026年には、ポートフォリオ企業とともにAIへの転換を強力に推進し、本源的競争力を強化するとともに、ノンコア事業資産の流動化によりリバランスを迅速に完了し、AIや半導体分野での新たな投資機会を継続的に模索していく方針です。

さらに、SKスクエアは株主価値の向上に持続的に取り組んでいます。2023年以降、毎年自己株式の取得と消却を行っており、2025年には年間総額2000億ウォンの自己株式を取得しました。2024年11月に公表した企業価値向上計画の目標(純資産価値割引率、自己資本利益率、株価純資産倍率)については、発表から約1年で全て達成しています。また、2025年11月には、2028年までに純資産価値割引率を30%以下に引き下げるという新たな目標を掲げました。



SK networks

SKネットワークス

事業領域

AI、情報通信、自動車管理、
AIウェルネスプラットフォーム、
データソリューション、トレーディング、
ホテル&リゾート、グローバル投資、
デジタルマーケティング

www.sknetworks.co.kr
ソウル市鍾路(チョンノ)区
チョングチョン路85 サムイルビル

2025年の売上高

31億ドル
*連結基準47億ドル

SKネットワークスは、1953年にSKグループの母体である鮮京(ソングョン)繊維として創業され、その後も産業環境の変化の中でたゆまぬ革新と挑戦を続けながら成長を遂げてきました。蓄積された経験と信頼を基盤に事業ポートフォリオを多角化し、安定した成長基盤を築いています。現在は、AIを中心とした事業持株会社への転換を進め、未来に向けた競争力を強化していく計画です。

韓国トップクラスの携帯電話端末流通事業者である情報通信部門のほか、上質な楽しさとリラクゼーションをお届けする都市型リゾートのウォーカーヒルホテル&リゾート、グローバル市場で事業を展開するトレーディング企業である「グロワイド」などが、着実に競争力を高めています。また、SKインテリクスは、環境家電の製造・販売・レンタル事業ブランドのSKマジックや、AIロボティクスブランドのナムエックス(NAMUH^X)を展開し、AIウェルネスプラットフォーム企業へと進化しています。さらに、AI基盤のモビリティソリューションプロバイダーへと成長したスピードメイト、AI時代に適したデータ資産化戦略やデータ特化型ソリューションを提供するエンコア、韓国初の薬学特化型生成AIソリューションのケイロン(Cheriron)をリリースしたピニックスラボ、AI基盤のコンテンツマーケティングのトレンドを牽引する統合マーケティング専門企業のインクロスなど、多様なAI事業モデルを展開しています。AIなど進んだ技術を持つ企業への投資や協業により、AIビジネスエコシステムの活性化にも貢献しています。

SKネットワークスは、今後も既存事業のコア競争力を一層強化し、安定した収益創出基盤を固めるとともに、保有事業全体にAI技術を戦略的に取り入れることで、新たな付加価値の創出を進めていく計画です。技術と産業の融合によって持続可能な成長構造を確立し、未来の市場をリードするAI中心の企業を目指してまいります。

SK enmove

SKエンムーブ

事業領域

高級潤滑基油(Gr-III/III+)、
プレミアム潤滑油、
電気自動車用潤滑油、液浸冷却油

www.skenmove.com
ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ26
SKビル

2025年の売上高

25億ドル
*連結基準31億ドル

SKエンムーブはSKイノベーショングループの一員として、高級潤滑基油(Base Oil)や潤滑油(Lubricants)事業を中心に、未来のエネルギー効率化事業へと事業領域を拡大している「エネルギーセービングパートナー」として活躍しています。厳格な品質基準と安定した供給能力、蓄積された工程・製品技術を備えた「YUBASE(ユーベース)」は、世界のGroup III(Group III & III+)高級潤滑基油市場をリードしています。また、超低粘度のプレミアム合成エンジンオイル「ZIC(ジック)」は、世界60か国以上で高い評価を受けるグローバルブランドへと成長しています。

電動化・環境配慮が求められる時代の変化に対応し、長年にわたり培ってきたプレミアムエンジンオイルと潤滑技術を基盤に、電気自動車用潤滑油の技術力の強化を進めています。一方、AIやデータセンターの拡大に伴う電力需要の急増と発熱問題に対応するため、液浸冷却市場を先駆けて開拓しています。加えて、自動車の電動化やグローバルな環境規制の強化に対応した革新的な次世代冷媒や冷凍基油を開発し、将来の成長エンジンを拡大しています。

さらに、使用済み廃潤滑油を回収し、再び高級潤滑基油に再生する「廃潤滑油アップサイクル」により、資源の循環システムを構築し、環境的価値と経済価値を同時に実現する循環経済のあり方を示しています。今後もSKエンムーブは、未来のモビリティとデータの流れをより効率的かつ持続可能なものにする最適なソリューションを提供し、グローバル市場での技術革新と持続的成長を追求してまいります。



SKC

SKC

事業領域

二次電池素材、半導体素材、エコ素材

www.skcc.kr

ソウル市中区チュンムロ15

2025年の売上高

1,760万ドル

* 連結基準13億ドル

SKCは、1976年の設立以来、素材産業の変化に伴って、たゆまぬ技術革新と事業転換を重ねつつ成長を続けてきました。フィルムおよび化学素材の分野で蓄積したノウハウを基盤に、二次電池素材、半導体素材、環境配慮素材といった高付加価値の先端素材事業へとビジネスモデルを高度化し、グローバルなESG素材ソリューション企業へと進化を遂げています。

半導体パッケージング分野のパラダイムシフトを牽引するガラス基板は、現在、量産体制の構築を加速しています。電気自動車の重要素材である銅箔製造分野においては、世界最高水準のレシビと加工技術を確立し、高品質の銅箔を供給しています。また、ニッケル合金箔なども顧客の評価が進められています。さらに、半導体テスト工程に必要な各種ソリューションも提供し、半導体後工程の素材や部品分野のポートフォリオ強化も進めています。加えて、生分解性素材である高強度PBATを生産し、環境配慮型ソリューション市場の開拓にも取り組んでいます。

また、SKCはガラス基板メーカーのアプソリクスをはじめ、半導体テストソリューション企業のISC、二次電池用の銅箔メーカーであるSKネクシリス、生分解性PBAT素材企業のSKリビオなどの子会社を通じて、米国、欧州、東南アジアをはじめとする世界各地に生産拠点と販売法人を構築し、グローバルネットワークを拡大しています。今後も技術競争力の強化やビジネスモデルの高度化、グローバルネットワークの拡充に積極的に取り組み、世界の先端素材産業の発展を牽引してまいります。

SK chemicals

SKケミカル

事業領域

化学、医薬品およびバイオ

www.skchemicals.com

京畿道城南(ソンナム)市ブندان区

パンギョ路310

2025年の売上高

10億ドル

* 連結基準17億ドル

SKケミカルは、1969年にソングョン合繊として設立されて以来、「人類の健康を増進し、地球の環境を守る」というミッションを掲げ、韓国の化学素材およびライフサイエンス分野の革新と成長を牽引してきました。人と環境の調和を通じて、より豊かな社会の実現を目指し、環境に優しい素材ソリューションを提供するGreen Chemicals事業と、革新的な医薬品を中心にトータルヘルスケアソリューションを展開するLife Science事業を展開しています。

Green Chemicals事業では、高機能コポリエステルや接着・コーティング剤などの既存事業の競争力強化を図るとともに、CR-PETやCRコポリエステルなど循環リサイクル素材の競争力を高めるため、リサイクルイノベーションセンターやフィードストックイノベーションセンターの構築を通じて、リサイクルプラスチックのバリューチェーン高度化を推進しています。また、バイオ由来の原料を活用した素材ポートフォリオの拡大により、化石原料への依存度を下げ、持続可能な原料への転換を加速していきます。

Life Science事業では、高品質な天然および合成医薬品を韓国市場に安定的に供給するとともに、研究開発や海外における戦略的パートナーシップにより着実に成長を続けています。合成新薬、天然物、バイオなどさまざまな分野で新薬開発のための研究開発と投資を推進し、CMO・CDMOを拡大して事業領域の拡充を図るとともに、AIを活用した新薬探索力の強化など、新しい事業機会の創出にも取り組んでいく計画です。



SK Inc. AX

SK株式会社 AX

事業領域

生成型AI、クラウド、ESG、

デジタルファクトリーなどの

デジタルサービス

www.skax.co.kr

京畿道城南(ソンナム)市ブندان区

ソンナム大路343号9 エスケキュタワー

2025年の売上高

* SK株式会社の売上高に合算して表示

SK株式会社AXは、2025年6月の社名変更を機に、「Being AX Company」をめざす新たな挑戦を開始しました。AI技術の研究や商品開発・運営能力を強化し、お客様のビジネス革新を支援するAX専門企業へと進化しています。ICTのお客様企業において、AI基盤のB2B・B2Cビジネス革新やデジタル変革の課題を迅速に支援し、SKグループの系列会社のデジタル競争力を強化することで、AIを活用したB2B成功事例を迅速に外部事業へと展開しています。

代表的な取り組みとして、AX統合ブランド「AXgenticWire(エックスジェンティックワイヤー)」を立ち上げ、企業のAI活用環境(性能・コスト・ガバナンス)の最適化を進めています。AXgenticWireによって、企業の運営体制全体をエージェンティック環境に合わせて再設計し、お客様の成長を支援するパートナーとして価値提供を行っています。また、CSWind(シーエスウィンド)の「再生可能エネルギー製造工程の最適化」や、農協の「顧客別カスタマイズ型金融サービス」など、製造・金融分野のAIの高度化をリードし、実質的なビジネス成果を創出しています。

さらに、「AI能力認証プラットフォーム」が、韓国の生成AI分野における能力認証システムとしては初めて、政府公認を取得しました。SK AXの認証モデルは、韓国産業においてAI転換を促進させる標準として定着していくことが期待されます。SK AXは、今後もAXをベースとしたビジネス革新を続けつつ、お客様からの信頼を高めてデジタル革新の成果を創出する、頼れる「AX専門パートナー」をめざします。



SK ecoplant materials

SKエコプラント マテリアルズ

事業領域

半導体素材、ディスプレイ素材

www.sk-materials.com

ソウル市鍾路(チョンノ)区チョンロ51、

チョンノタワービル7階

2025年の売上高

* SK株式会社およびSKエコプラントの

売上高に合算して表示

(2025年12月にSKエコプラントへ編入)

SKエコプラントマテリアルズは、半導体素材およびディスプレイ素材分野の基盤技術と製品ポートフォリオを持つ、素材技術専門企業です。2025年には、持株会社のセクターと4つの子会社をSKエコプラントに編入し、既存の主力事業の競争力強化を進めています。

主な事業内容は、半導体フォトレジストをはじめ、蒸着ガスやエッチングガス、ブリカーサー、パッケージング素材など、半導体の主要工程で使用されるコア素材の開発・生産です。また、素材事業で培った技術力を強みに、OLED発光素材であるブルー・ドーパント素材への事業拡大も進めています。

SKエコプラントマテリアルズは、お客様との緊密な連携をもとに次世代素材をいち早く採用し、適時に供給することで、世界の先端産業全体の安定的な成長を牽引しています。さらに、AI時代を迎え、デジタル化とAIへの転換を同時に推進し、「システムが働き、人が学習する」真の意味での『AIカンパニー』をめざしています。今後も、素材技術の優れた競争力をもとに、お客様に差別化された価値を提供し、さらなる成長を続けていきます。



SKbiopharmaceuticals

SKバイオファーム

事業領域

製薬(新薬開発)

www.skbp.com

京畿道城南(ソンナム)市ブンダン区

パンギョ駅221 ツーソンワールドビル

2025年の売上高

4億5,750万ドル

* 連結基準4億9,690万ドル

SKバイオファームは、「患者の幸せとQOL(生活の質)の向上」という価値を実現することを使命に、革新的な新薬の開発に取り組むグローバル製薬企業です。韓国の製薬業界史上初めて、候補物質の発掘から臨床開発、そして世界最大の市場である米国におけるFDA承認の取得および販売に至るまでの全過程を独自に実施し、K-バイオの新たな地平を切り開きました。

SKバイオファームの代表的な成果である脳卒中薬「セノバメイト(XCOPRI®)」は、現在、米国市場で新規患者処方数(TRx)が著しく増加しており、グローバルなブロックバスター薬としての成長を着実に進めています。また、既存の中枢神経系(CNS)分野でのリーダーシップを強化するとともに、放射性医薬品(RPT)や標的タンパク質分解酵素(TPD)など、未来の医療パラダイムを変える次世代のコアプラットフォームを確保し、パイプラインの多角化を進めています。

SKバイオファームのコア競争力は、研究開発能力と商業化力を有機的に結びつけ、外部の有望な技術を迅速に導入し収益化する「統合的バリューチェーン(Integrated Value Chain)」にあります。この差別化された競争力により、治療薬の開発を超え、デジタルヘルスケアと連携した患者個別化ソリューションを提供し、患者の包括的なケアを実現する「トータルヘルスケアソリューションプロバイダー」、そして、世界の製薬産業をリードする「グローバルビッグバイオテック(Global Big Biotech)」へと成長してまいります。



SKは、AIがすべての人を幸せにする、最も効率的な解決策であり、最も温かい技術であるべきだと信じています。

すべてのステークホルダーと共に幸せになれる、そして、持続可能なAIの未来を築いていくために、SKは革新的なフルスタックAIソリューションを提供してまいります。